

平成 22 年度 中区 区民意識調査
報 告 書

平成 22 年 10 月

横浜市中区総務部
区政推進課

～ 目次 ～

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査実施概要.....	1
2. 調査結果.....	5
(1) 中区の行政サービスについて.....	5
(2) 地域活動全般について.....	7
(3) 子育て支援について.....	12
(4) 行政情報の入手方法について.....	21
(5) 多文化共生について.....	23
(6) 生活マナー・社会規範について.....	27
(7) 自由意見欄への回答について.....	28
3. 参考資料.....	31
(1) 調査票.....	31

1. 調査概要

(1) 調査の目的

中区区民意識調査は、区民の生活実態や社会的関心事のポイント、まちづくりの課題等を明らかにして、今後の政策立案、事業化や予算編成等に反映させることを目的とする。

(2) 調査実施概要

①調査対象数 計 3,500 件

ア 住民基本台帳からの無作為抽出 3,115 件（中区人口の約 2.1%）

イ 外国人登録原票からの無作為抽出 385 件（中区外国人登録数の約 2.4%）

②調査項目 計 31 問

ア 属性質問 11 問

イ 中区の行政サービスについて 1 問

ウ 項目別質問（5つのカテゴリ 計 18 問）

地域活動 3 問、子育て支援 6 問、行政情報の入手 4 問

多文化共生 3 問、生活マナー 2 問

エ 自由意見 1 問

③調査期間

平成 22 年 6 月

④調査方法

郵送配布・郵送回収法によるアンケート調査

⑤回収状況

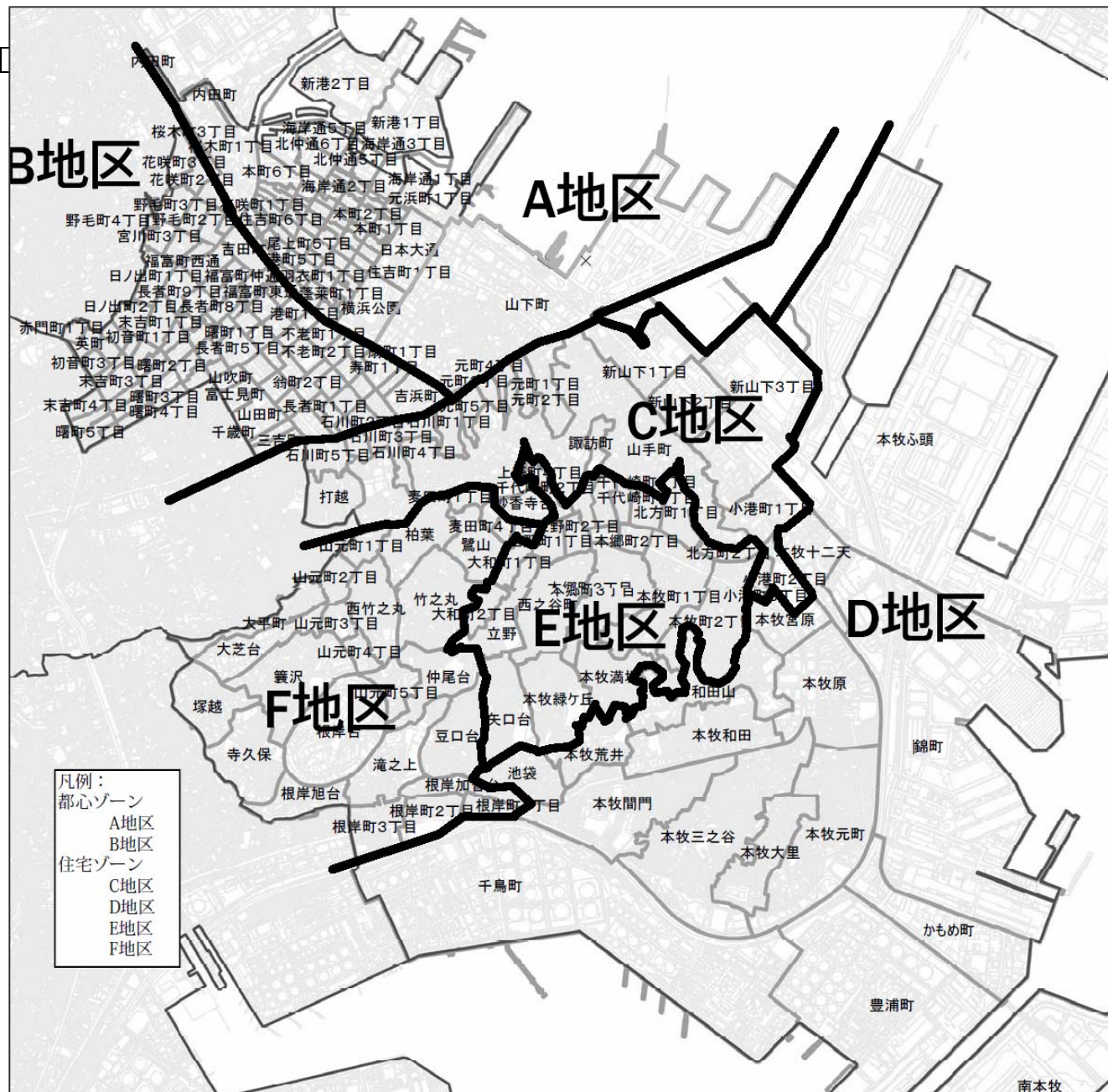
ア 回収数 1,576 件（うち外国人と断定できるもの 24 件）

イ 回収率 45.0%（うち外国人と断定できるもの 6.2%）

⑥回答者の属性

性別	男性 無回答	41.2% 2.5%	女性 無回答	56.3% 2.5%
年齢	20～29 歳 40～49 歳 60～69 歳 無回答	8.0% 20.6% 18.3% 2.3%	30～39 歳 50～59 歳 70 歳以上	19.7% 16.2% 14.8%
同居家族 (複数回答)	祖父(義祖父) 父(義父) 配偶者 子(15 歳未満) 孫(15 歳未満) ひとり暮らし 無回答	0.6% 10.5% 58.6% 19.1% 1.7% 17.4% 3.0%	祖母(義祖母) 母(義母) 兄弟姉妹 子(15 歳以上) 孫(15 歳未満) その他	1.4% 15.3% 6.2% 24.0% 1.6% 1.5%
居住地区	A 地区 C 地区 E 地区 無回答	9.3% 14.0% 18.0% 2.7%	B 地区 D 地区 F 地区	20.1% 18.1% 18.0%
居住年数	1 年未満 3～5 年未満 10～20 年未満 30 年以上	5.5% 7.9% 17.6% 33.2%	1～3 年未満 5～10 年未満 20～30 年未満 無回答	8.3% 14.5% 10.4% 2.5%
居住形態	持ち家(一戸建て) 賃貸(一戸建て) その他	35.9% 3.3% 2.4%	持ち家(マンション等共同住宅) 賃貸(マンション等共同住宅) 無回答	28.4% 26.8% 3.2%
中区に住むようになった理由 (複数回答)	親の代から住んでいて、同居しているから 通勤や通学に便利だったから その他	25.8% 26.8% 12.4%	親や兄弟姉妹、親戚などが近所に住んでいたから 住環境がよいと思ったから 無回答	13.9% 29.6% 6.5%
職業	就労している(常勤・フルタイム) 就労していない その他	39.7% 36.0% 2.6%	就労している(非常勤・パート・アルバイト) 学生 無回答	17.3% 1.3% 3.1%
通勤通学先	中区内 神奈川県以外の市町村 その他 無回答	22.7% 4.4% 1.1% 4.3%	横浜市内の他の区 東京都内 通勤・通学はしていない	13.5% 16.4% 37.7%
職場・学校までの所要時間	15 分未満 30～45 分 1 時間～1 時間 30 分未満 2 時間以上	21.9% 13.4% 21.4% 0.9%	15～30 分未満 45 分～1 時間未満 1 時間 30 分～2 時間未満 無回答	20.4% 15.8% 4.6% 1.5%
一日のうちの 余暇時間	1 時間未満 3～5 時間未満 無回答	9.7% 23.8% 5.0%	1～3 時間未満 5 時間以上	37.7% 23.8%

⑦地区区分図



1. 都心ゾーン	A地区	該当連合：関内、第1北部、第2（一部）（関内） ・観光・宿泊・業務（新港、海岸通り、北仲通、日本大通、山下町など） ・飲食・商業・業務（港町、尾上町、住吉町、相生町、弁天通、南仲通など）
	B地区	該当連合：1中部、埋地、第1北部（大部分）（関外） ・飲食・商業などの盛り場（野毛から伊勢佐木町まで） ・業務・居住（大通り公園の南側）
2. 住宅ゾーン	C地区	該当連合：石川打越、第2（一部）、第3（一部）、第4北部（一部）、第6（一部） ・飲食・商業などの商店街（元町） ・マンション化が顕著な居住（山手） ・山手のふもとの臨海部で進行する居住（新山下、小港）
	D地区	該当連合：新本牧、本牧根岸（大部分）（本牧） ・三溪園・市民公園などを持つ旧市街（本牧元町など） ・米軍基地跡地開発の新本牧（本牧和田、本牧原など） ・臨海部の準工業地域内の住宅団地（本牧ポートハイツ）
	E地区	該当連合：第4南部、第4北部（大部分）、第3（一部）（本牧北） ・商店街を持つ高齢化した旧市街
	F地区	該当連合：第6（大部分）、第3（一部）、本牧根岸（一部）（根岸） ・狭隘道路や密集住宅が多い旧市街（仲尾台、山元町など） ・根岸森林公園を持つマンション部分（根岸旭台など）

2. 調査結果

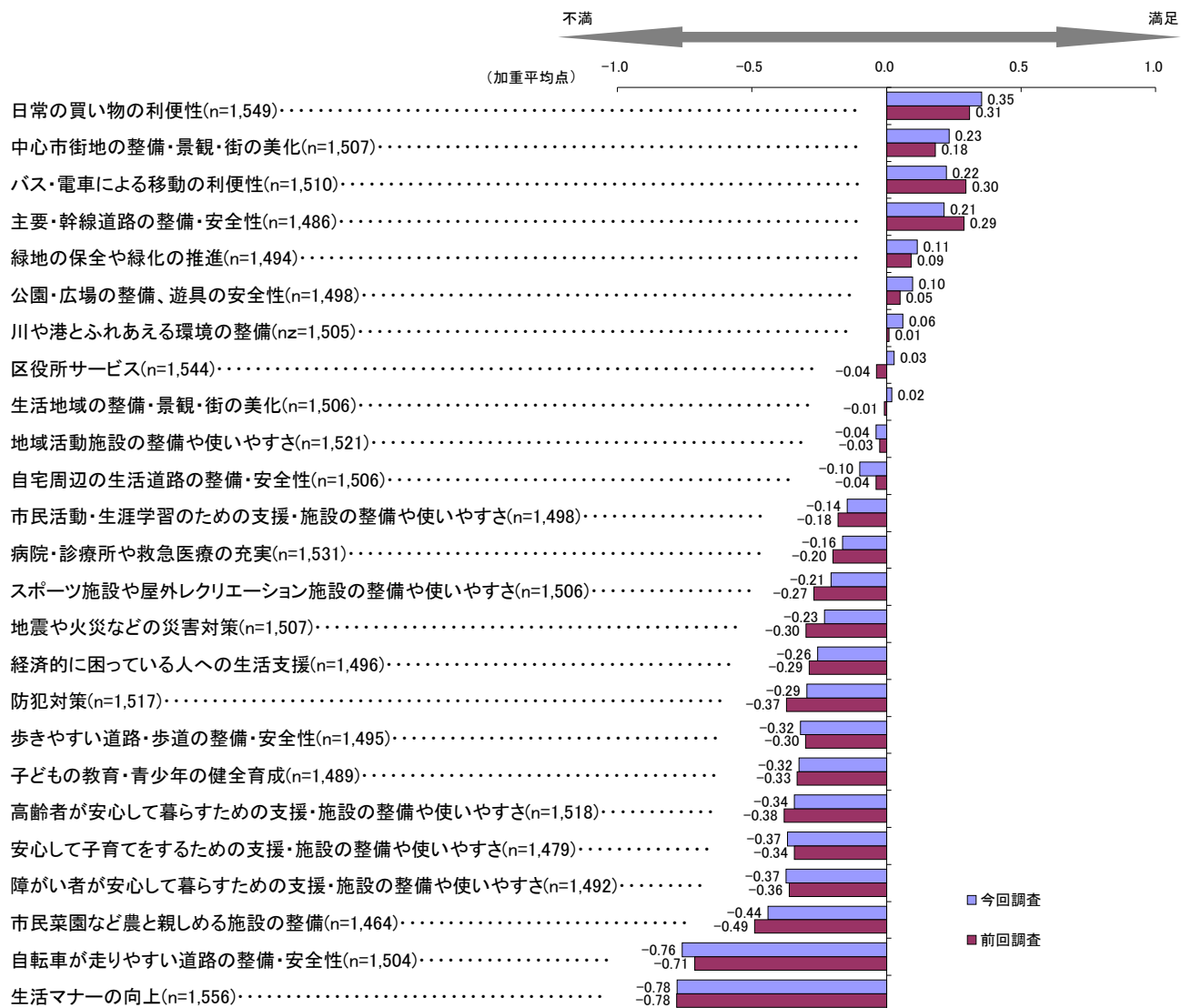
(1) 中区の行政サービスについて

①行政サービスへの満足度

中区の行政サービスにおける各項目について、現在の満足度を指標化して把握したところ（図表1）、「日常の買い物の利便性」や、「中心市街地の整備・景観・街の美化」に対する評価が高いものの、「生活マナーの向上」、「自転車走りやすい道路の整備・安全性」、子育てや高齢者、障害者のための支援など福祉面等について不満を感じている割合が高い。

前回調査と比較してみると、「防犯対策」や「地震や火災などの災害対策」、「区役所サービス」などの満足度は向上している一方、「バス・電車による移動の利便性」や「主要・幹線道路の整備・安全性」、「自宅周辺の生活道路の整備・安全性」についての満足度は低くなっていることがわかる。

図表1. 中区の行政サービスについての現在の満足度（問1-1、前回調査と比較）



注)加重平均点={満足×2+やや満足×1+やや不満×(-1)+不満×(-2)}÷(全体-無回答)
掲載の回答者数(n)は今回調査のものである。

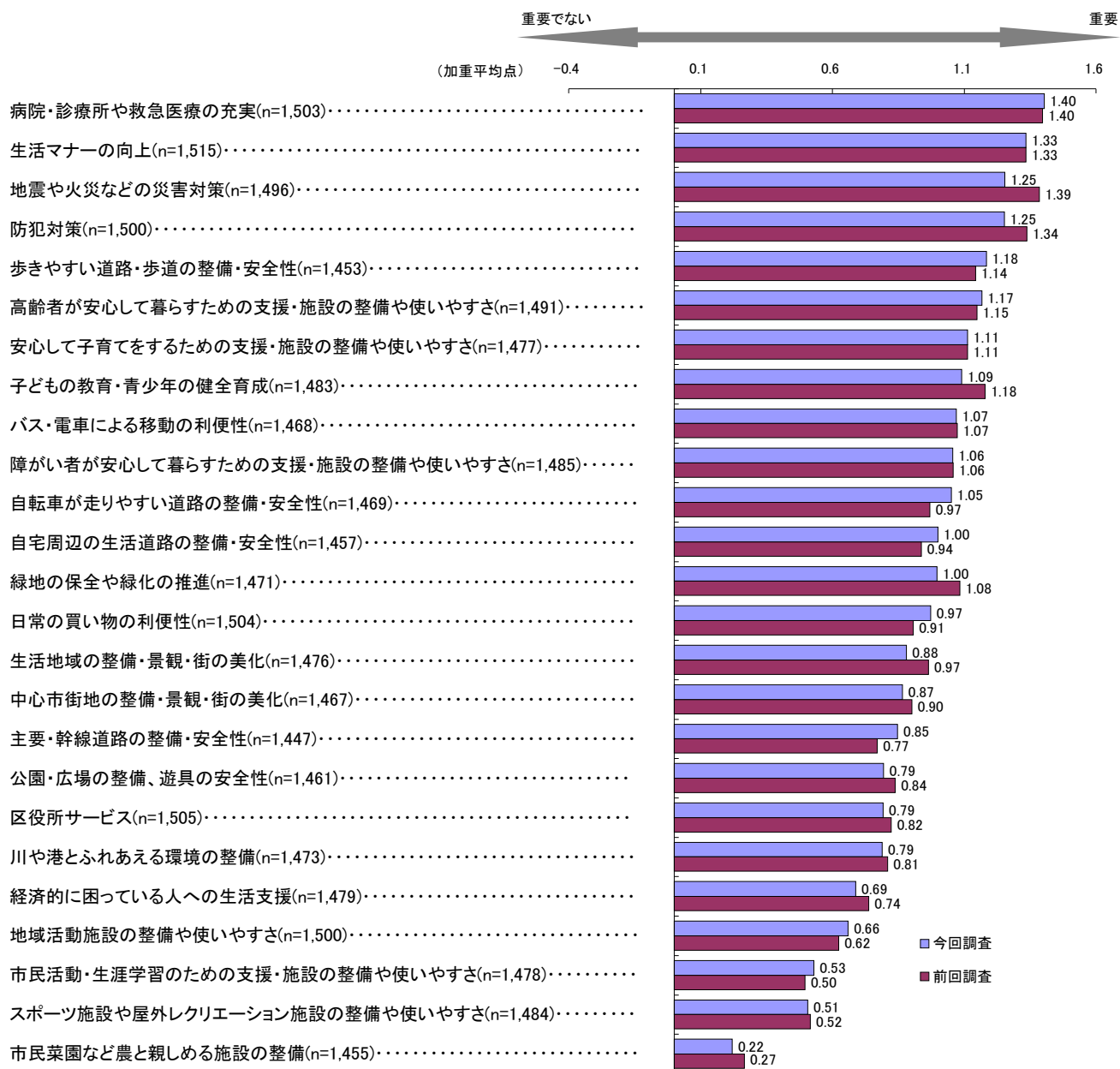
※図表1及び図表2では、調査結果をわかりやすく表記するため、満足度と重要度について全体の回答の平均をとり、指標化して表記しています。仮にすべての方が「満足」もしくは「重要」と回答すると2点、一方すべての方が「不満」もしくは「重要でない」と回答すると-2点、また「満足」と「不満」の方が半々だとすると、平均点は0点となります。

②行政サービスにおける今後の重要度

中区の行政サービスにおける各項目について、今後の重要度を指標化して把握したところ（図表2）、すべての項目がプラスとなっている。「生活マナーの向上」、福祉面での支援や施設の充実など、特に現在の満足度が低い項目に、今後の重要度が高い（期待が大きい）ことがわかる。

また、前回調査と比較してみると、「自転車が走りやすい道路の整備・安全性」や「主要・幹線道路の整備・安全性」といったように、道路の整備・安全性に関する重要度（期待）が高くなっていることが見て取れる。このほか、「日常の買い物の利便性」や「自宅周辺の生活道路の整備・安全性」、「歩きやすい道路・歩道の整備・安全性」についての重要度も前回調査よりも高くなっている。

図表2. 中区の行政サービスについての今後の重要度（問1-2、前回調査と比較）



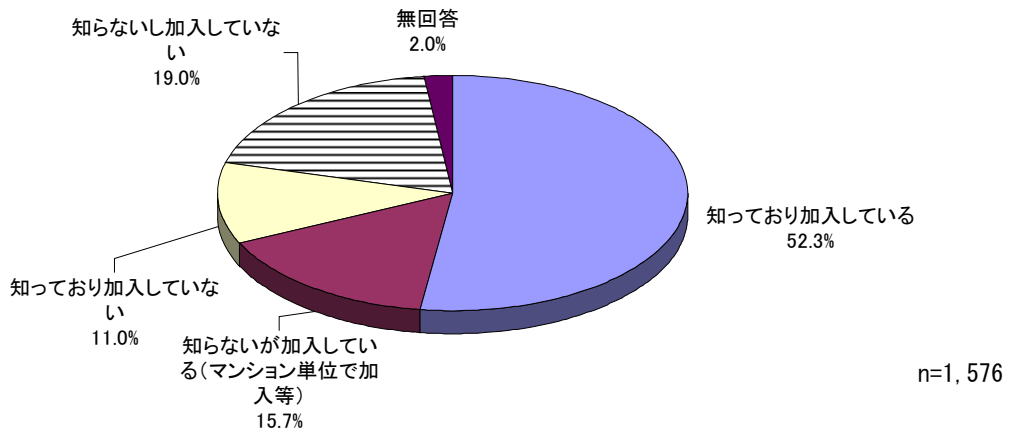
注)加重平均点={重要×2+やや重要×1+あまり重要ではない×(-1)+重要ではない×(-2)}÷(全体-無回答)
掲載の回答者数は今回調査のものである。

(2) 地域活動全般について

①自治会・町内会の認知度と加入状況

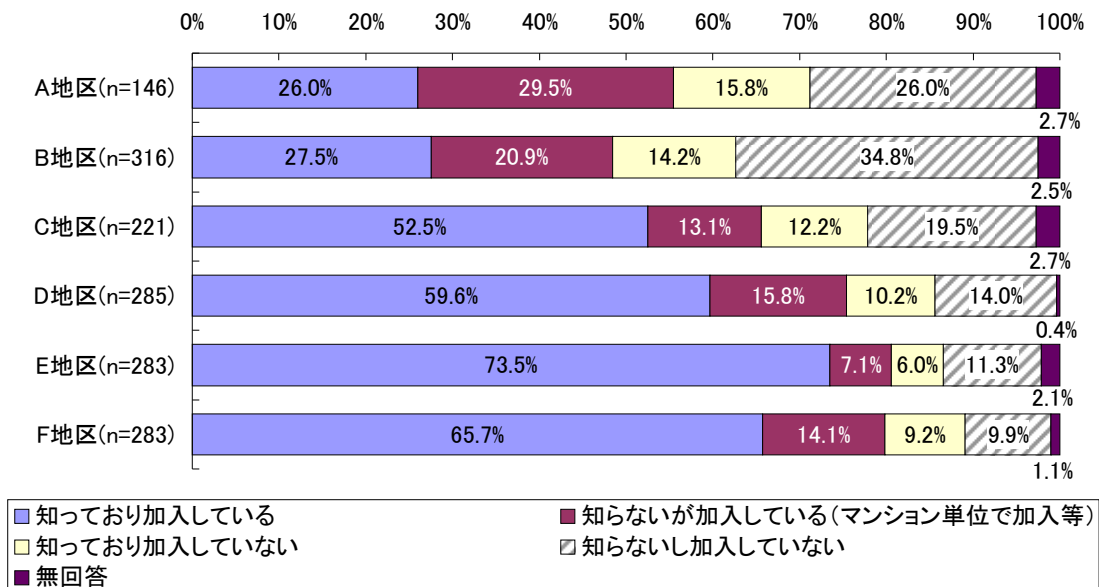
自分が住む地域の自治会・町内会の認知度と加入状況については、「知っており加入している」が半数を超えているものの、「知っており加入していない」「知らないし加入していない」の合計が3割を超えている(図表3)。

図表3. 自治会・町内会の認知度と加入状況(問2)



自治会・町内会の認知度と加入状況は、居住地区によって異なっており、マンション単位で加入している場合を含めた全体的な加入率は、E地区では8割を超えている一方、B地区では半数に満たない状況となっている(図表4)。

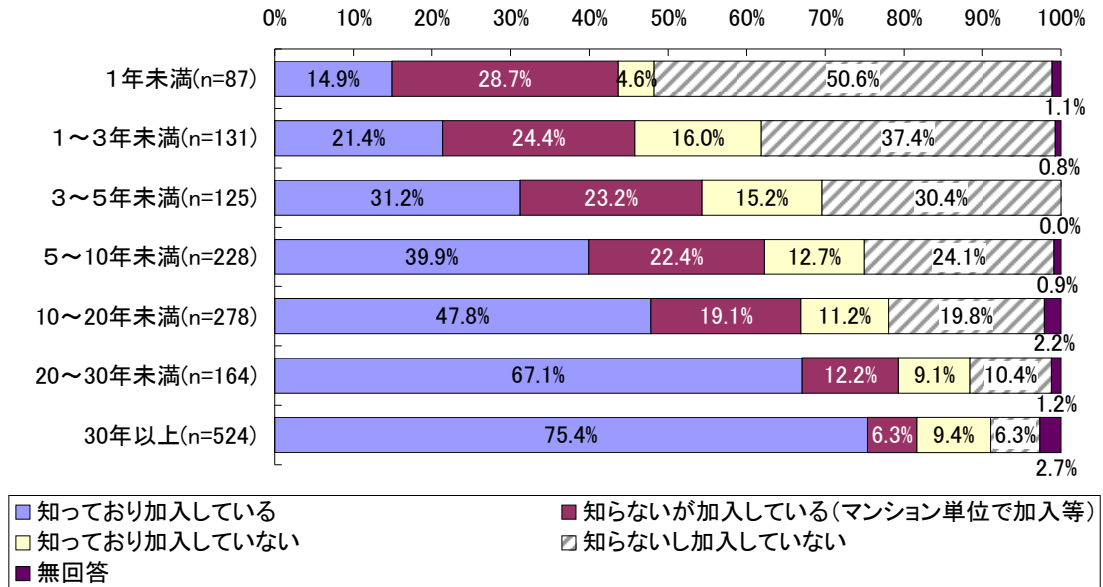
図表4. 居住地区と自治会・町内会の認知度と加入状況との関係(問24×問2)



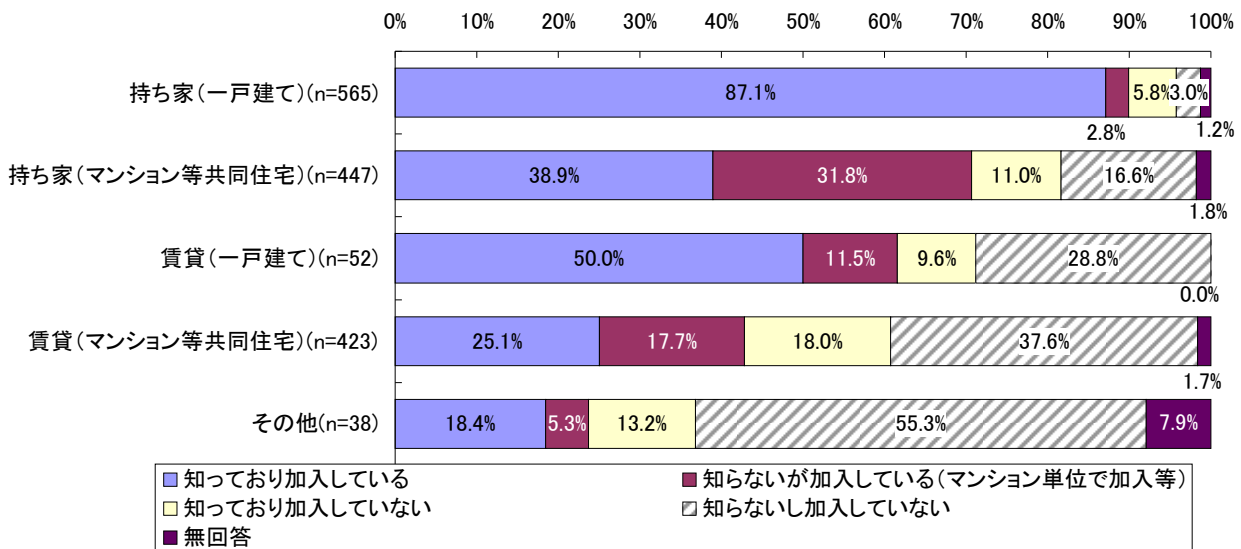
※A地区からF地区までの地区区分に関しては、3ページの地図を参照下さい。

自治会・町内会の認知度と加入状況は、居住年数が長いほど「知っており加入している」割合が高い（図表5）。また、賃貸より持ち家の方が、共同住宅より一戸建ての方が加入割合が高くなっている（図表6）。

図表5. 居住年数と自治会・町内会の認知度と加入状況との関係（問25×問2）

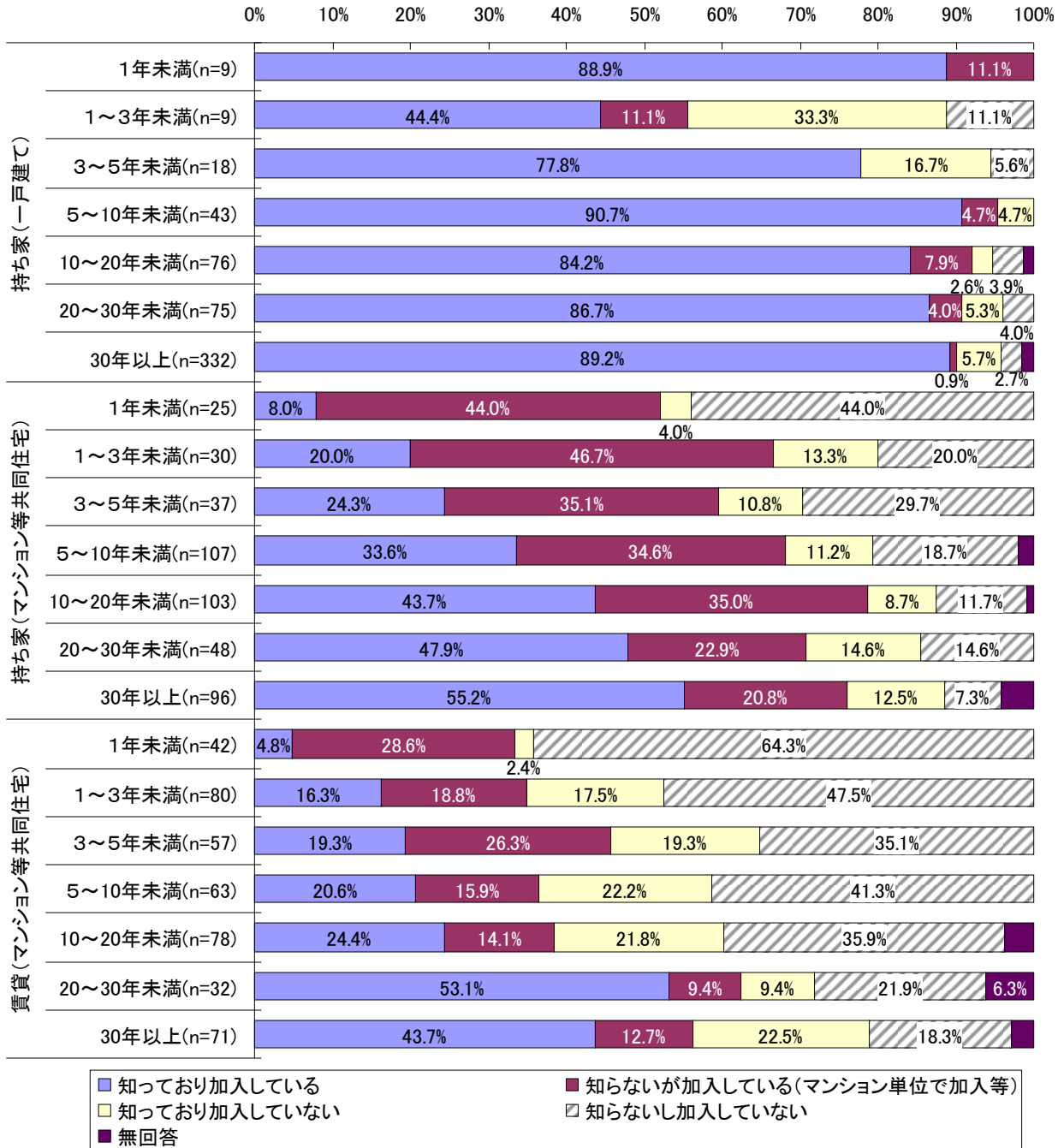


図表6. 居住形態と自治会・町内会の認知度と加入状況との関係（問26×問2）



自治会・町内会の認知度と加入状況を居住年数、および居住形態別にみると、持ち家では居住年数にかかわらず加入率が高い（一戸建ては8割前後、共同住宅は6～7割）のに対し、賃貸では居住年数が20年未満では3～4割程度と低いことがわかる（図表7）。

図表7. 居住年数、居住形態と自治会・町内会の認知度と加入状況との関係
（問25×問26×問2）

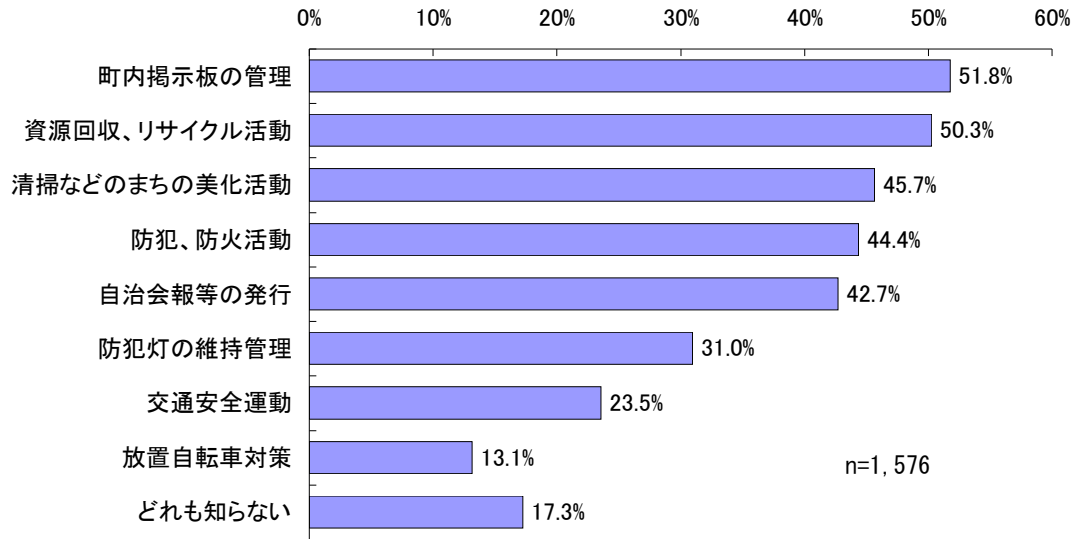


※「賃貸（一戸建て）」と「その他」については、度数が少ないため図表には非掲載。

②自治会・町内会の活動内容の認知度、地域活動への参加を促すための工夫

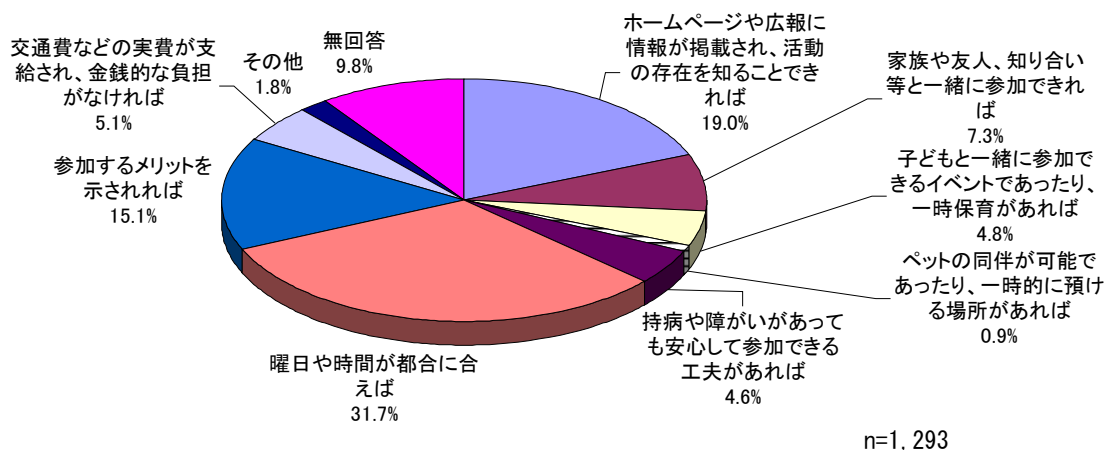
自治会・町内会の活動内容の認知度は、「町内掲示板の管理」や「資源回収、リサイクル活動」は5割を超えているが、「放置自転車対策」や「交通安全運動」は低い認知度となっている（図表8）。

図表8. 自治会・町内会の活動内容への認知度
（問3、複数回答：あてはまるもの全てに回答）



どのような工夫があれば地域活動に参加しやすいかについては「曜日や時間が都合に合えば」という回答が約3割だった。また、活動内容にかかる情報の周知や、参加するメリットの情報を求める意見も比較的多い（図表9）。

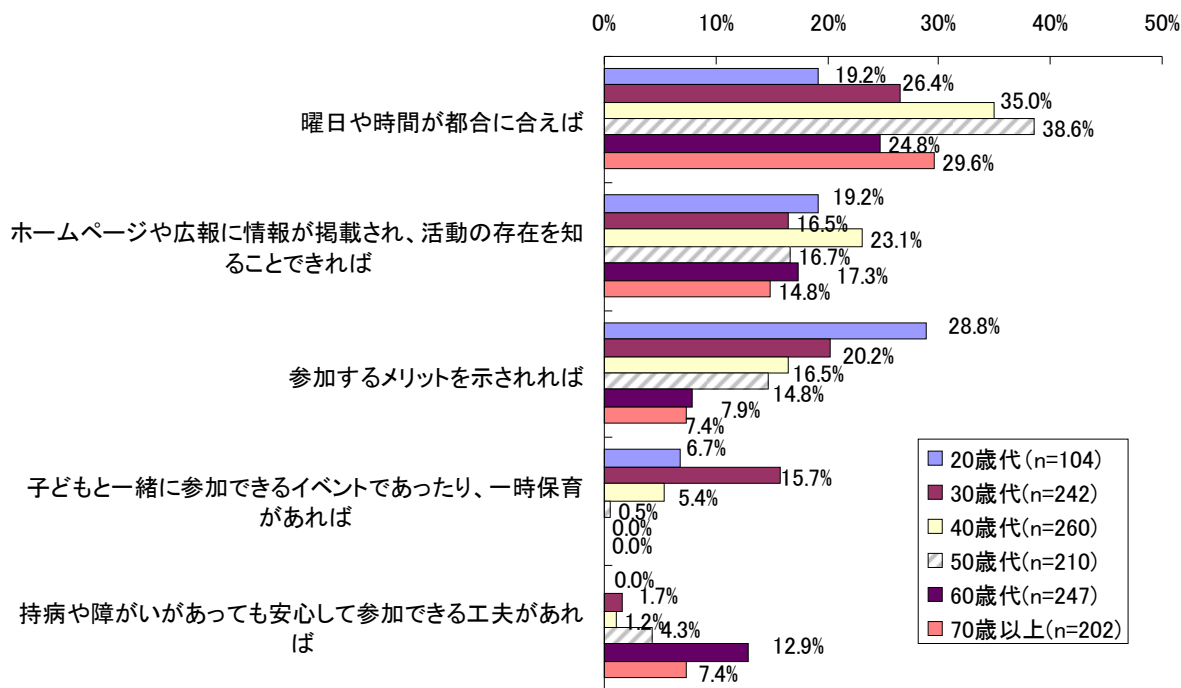
図表9. 地域活動への参加を促すための工夫（問4）



※複数の項目に回答があったものについては欠損値扱いとした。

地域活動への参加を促すための工夫について、年代別にみると、20 歳代では「参加するメリットが示されれば」、30 歳代では「子どもと一緒に参加できるイベントであったり、一時保育があれば」という割合が他の年代よりも高く、同様に 40 歳代、50 歳代では「曜日や時間が都合に合えば」、60 歳代、70 歳以上では「持病や障がいがあっても安心して参加できる工夫があれば」の割合が他の年代よりも高くなっている（図表 10）。

図表 10. 年代と地域活動への参加を促すための工夫との関係（問 22×問 4）



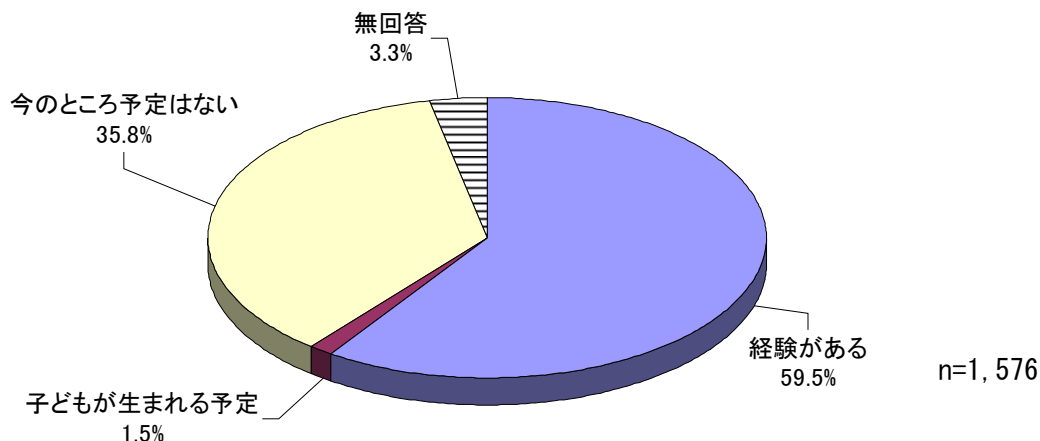
※回答項目のうち、一部を抜粋して図表を作成。

(3) 子育て支援について

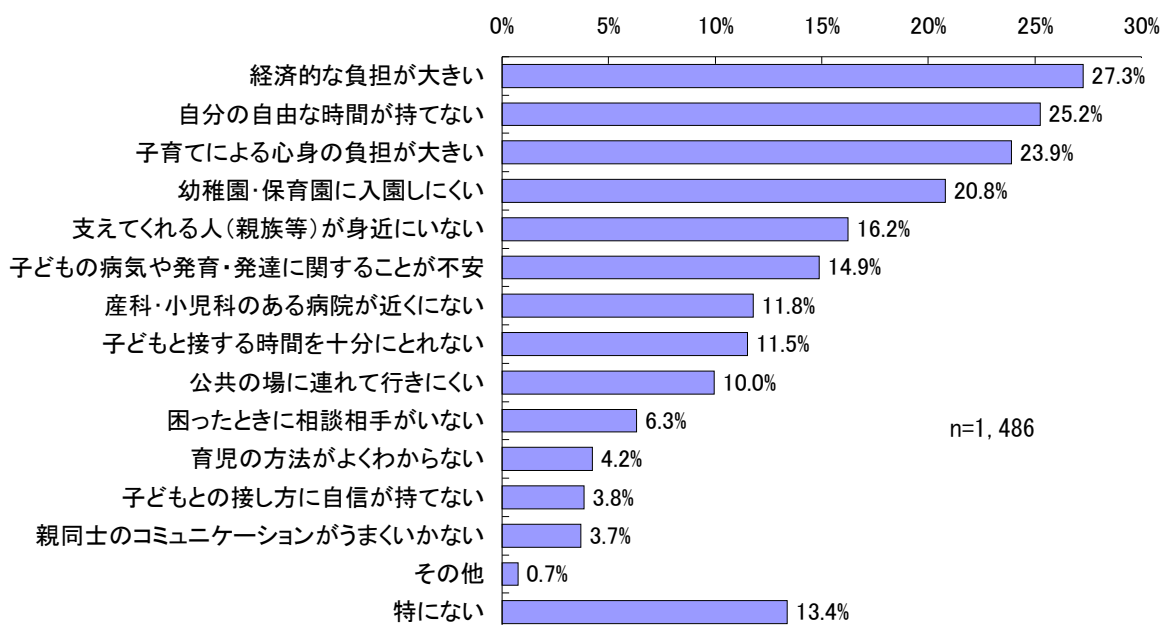
①子育て経験、出産・育児で苦労したこと

子育て経験や予定については、回答者の約6割が「経験がある」または、「子供が生まれる予定」と回答している(図表11)。また、出産・育児で苦労したこと/苦労すると思われることとしては、「経済的な負担が大きい」「自分の自由な時間が持てない」「子育てによる心身の負担が大きい」など、子育てに対する経済的、時間的及び精神的な負担が大きいとの回答が多い(図表12)。

図表11. 子育て経験・予定の有無(問5)



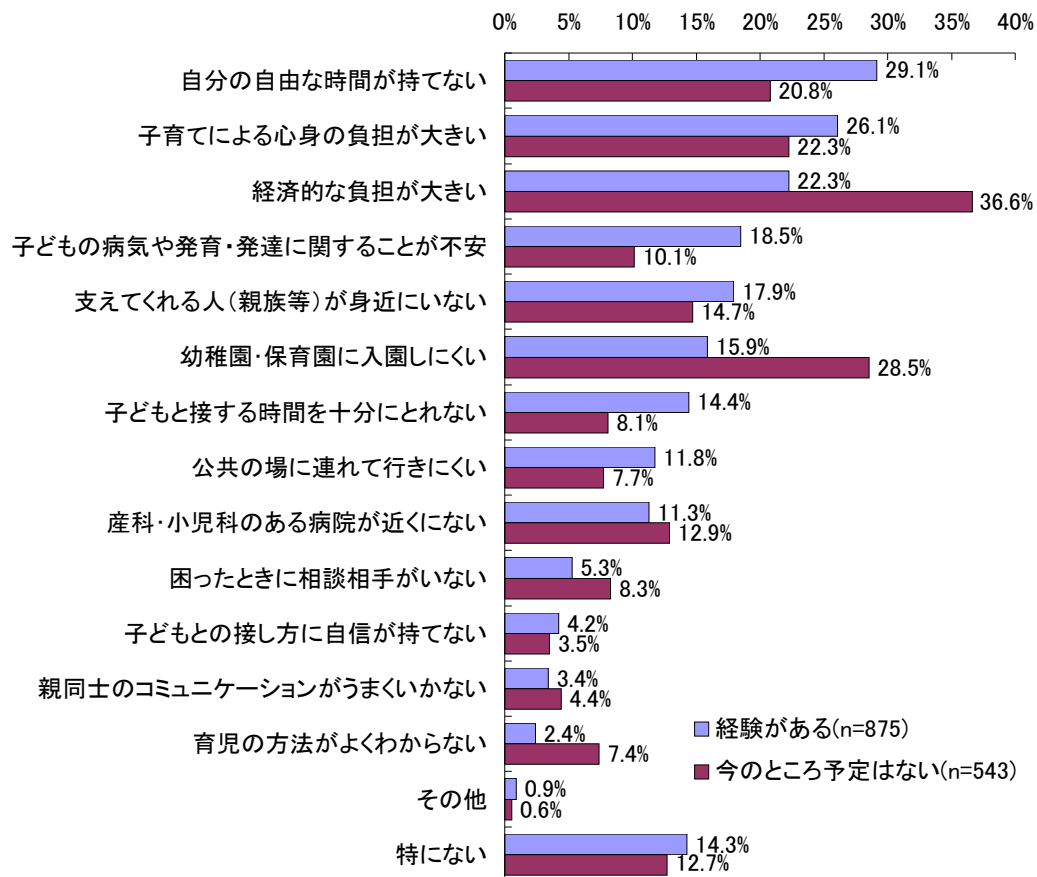
図表12. 出産・育児で苦労したこと/苦労すると思われること(問6、複数回答:3つまで回答)



※4つ以上の項目に回答があったものについては欠損値扱いとした。

子育て経験の有無別に、実際に苦労したこととイメージとの違いをみると、子育て経験がある人は「自分の自由な時間が持てない」「子育てによる心身の負担が大きい」「子どもの病気や発育・発達に関することが不安」といった心身への負担・不安に関する回答割合が高い。一方、子育て経験がない人は「経済的な負担が大きい」「幼稚園・保育園に入園しにくい」といった経済的・環境面での条件に関する負担・不安が大きいと想像していることがわかる（図表 13）。

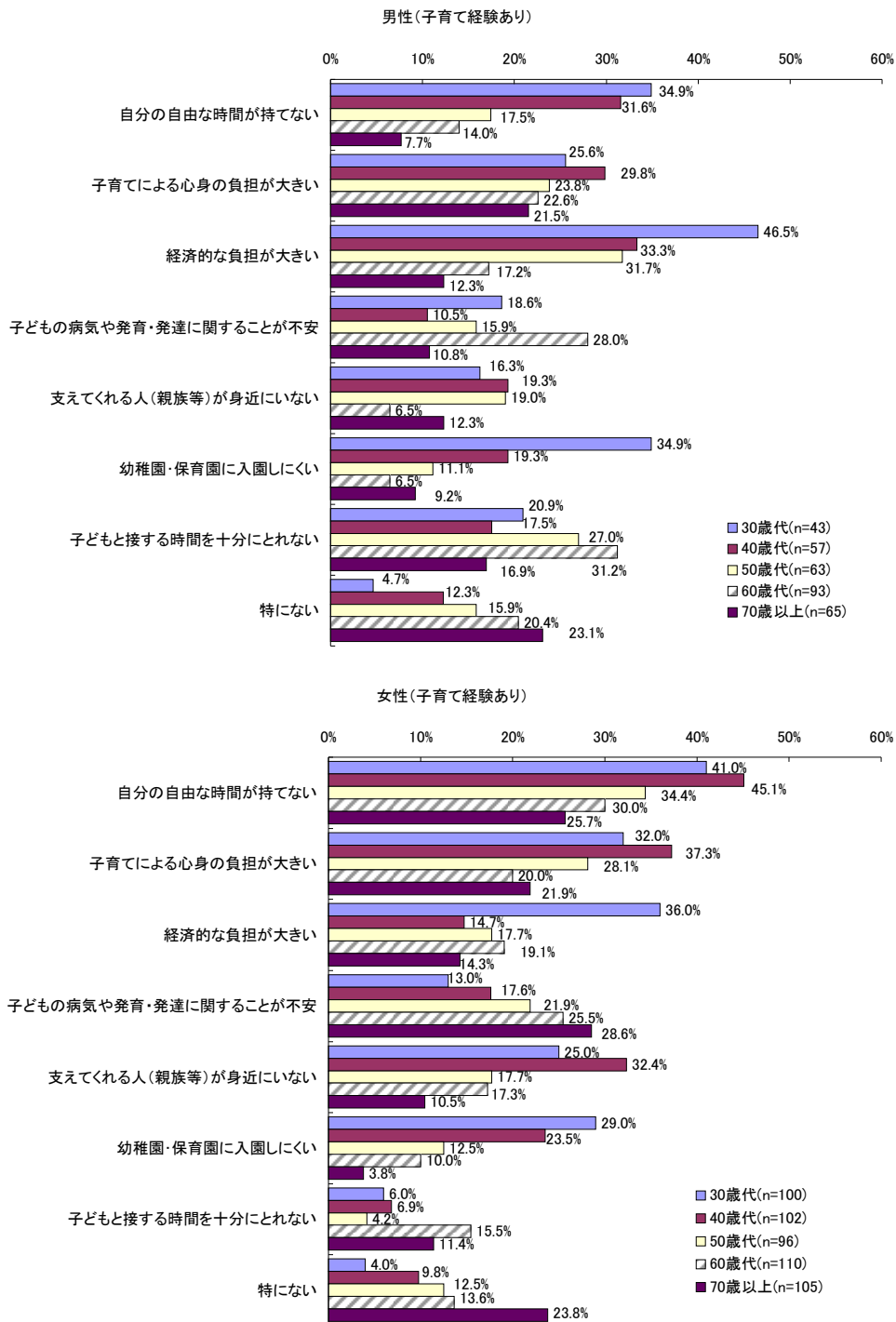
図表 13. 子育て経験・予定の有無と出産・育児で苦労したこと／苦労すると思われることとの関係
（問 5×問 6、複数回答：3 つまで回答）



※「子どもが生まれる予定」の方については、度数が少ないため図表には非掲載。

出産・育児で苦労したことについて、性別・年代別にみると、男性では、現在、出産・育児の最中である30歳代で「経済的負担が大きい」、「幼稚園・保育園に入園しにくい」、「自分の自由な時間が持てない」という回答が多い。女性の30歳代では、男性と同様の傾向があることに加えて、「子育てによる心身の負担が大きい」、「支えてくれる人（親族等）が身近にいない」などが多い（図表14）。

図表14. 性別、年代と出産・育児で苦労したこととの関係
（問21×問22×問6、複数回答：3つまで回答）

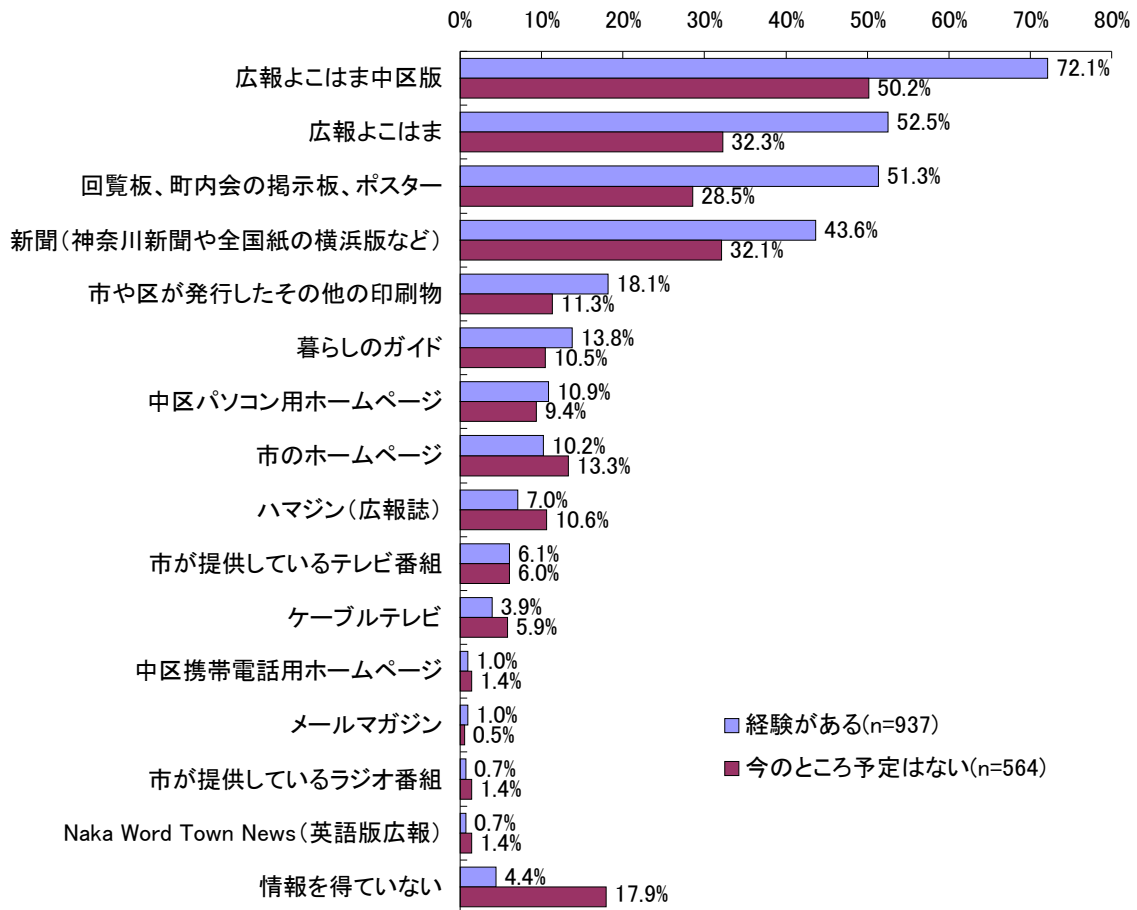


※子育て経験がある方のみ。回答項目のうち一部を抜粋して図表を作成。

「20歳代」については、度数が少ないため図表には非掲載。

子育て経験の有無別に現在の行政情報入手方法についてみると、子育て経験がある人もない人も、「広報よこはま中区版」や、「回覧板、町内会の掲示板、ポスター」などの紙媒体が多くなっている（図表 15）。

図表 15. 子育て経験・予定の有無と現在の行政情報入手方法との関係
（問 5×問 13、複数回答：あてはまるものすべてに回答）

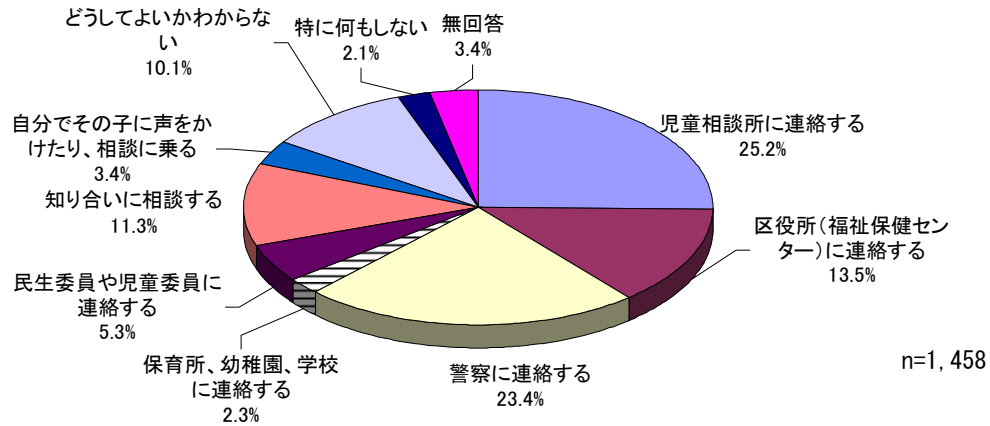


※「子どもが生まれる予定」の方については、度数が少ないため図表には非掲載。

②児童虐待

身近なところで児童虐待を受けていると思われる児童を発見した場合、どのような対応をとるかを尋ねたところ、児童相談所や警察、区役所（福祉保健センター）に連絡するといった、公的機関への連絡と回答した割合が高い（図表 16）。

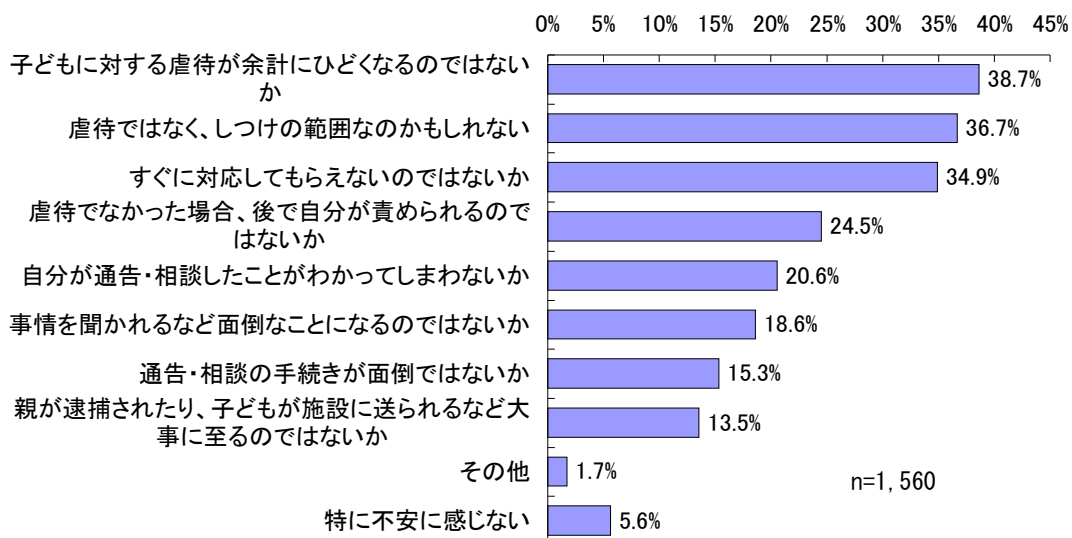
図表 16. 児童虐待と思われる児童を発見した場合にとる対応（問 7）



※複数の項目に回答があったものについては欠損値扱いとした。

児童虐待を受けていると思われる児童を発見した場合に不安に感じることについての質問結果は、公的機関等へ連絡した後で「虐待が余計にひどくなるのではないか」や、「すぐに対応されないのではないか」という不安を感じている人が多い。また、虐待自体が自身の誤解なのではないか、誤解により後で自分が責められるのではないかといったことに対し、不安を感じている人が多い（図表 17）。

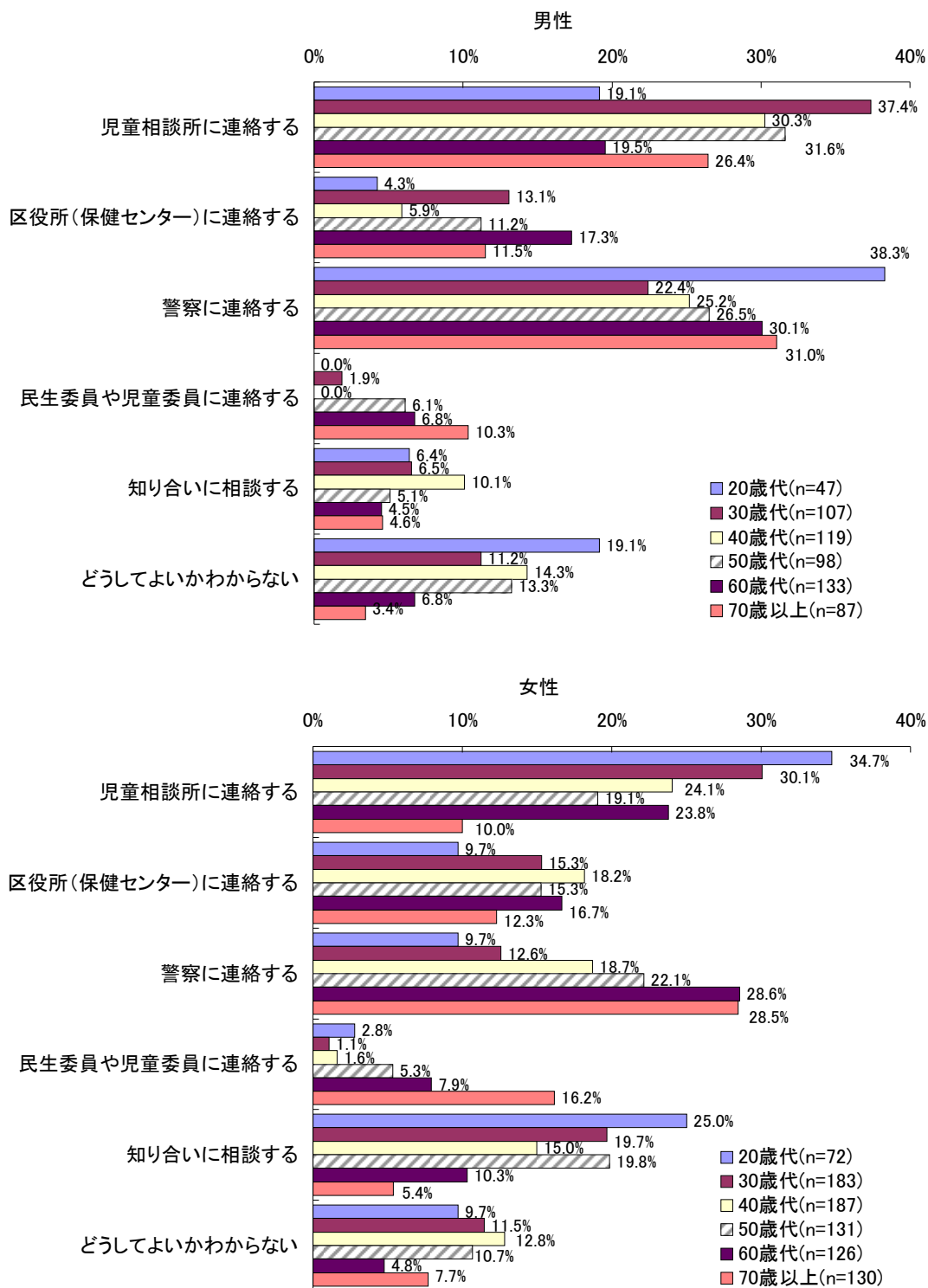
図表 17. 児童虐待と思われる児童を発見した場合に感ずる不安（問 8、複数回答：3 つまで回答）



※4 つ以上の項目に回答があったものについては欠損値扱いとした。

身近なところで児童虐待を受けていると思われる児童を発見した場合にとる対応について性別・年代別にみると、男女とも「児童相談所に連絡する」、「警察に通報する」との回答が多い。また、「どうしてよいかわからない」との回答が20歳代の男性の2割近くを占めている（図表18）。

図表 18. 性別、年代と児童虐待を発見した場合にとる対応との関係
(問 21×問 22×問 7)

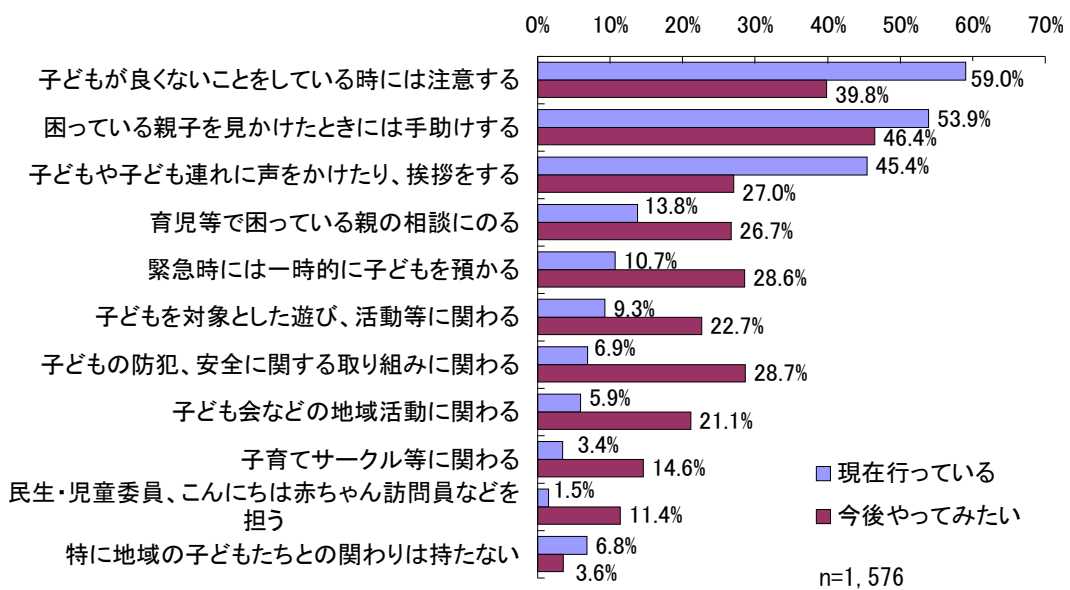


※回答項目のうち一部を抜粋して図表を作成。

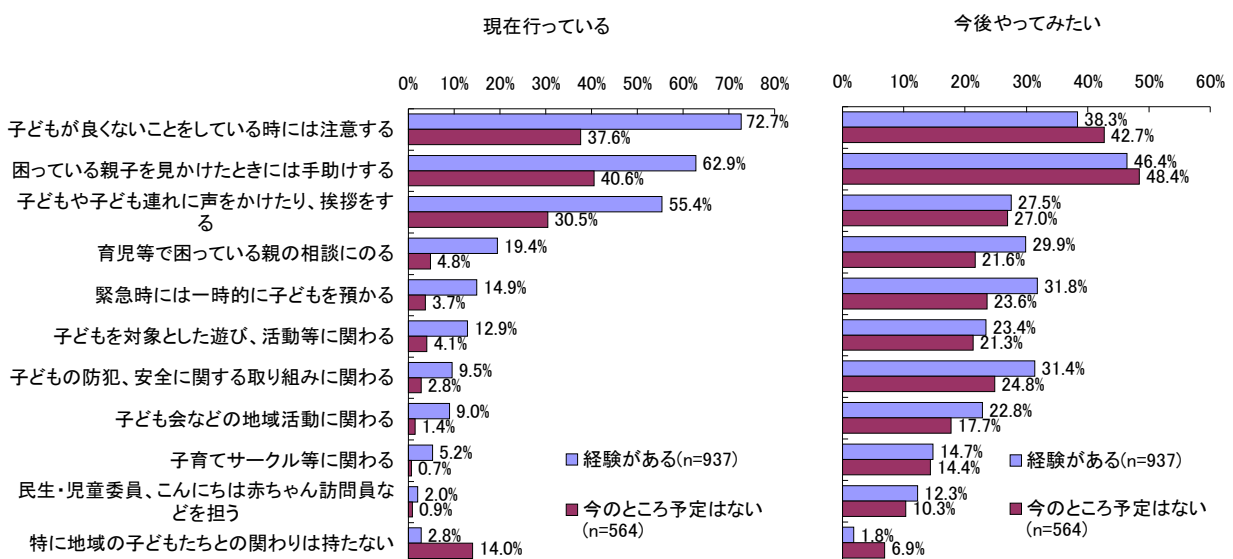
③子どもへの関わり

子どもへの関わりについて、現在行っているものと、これからやってみたいことを尋ねた結果、「子どもが良くないことをしている時には注意する」、「困っている親子を見かけたときには手助けする」との回答が多い。今後については、現在は関わっている人の少ない、地域での子育て支援活動や取り組みに参加したいと考える人が一定程度いることがわかった（図表 19）。これを子育て経験の有無別にみると、子育て経験がない人では子育て経験がある人よりも現在行っていることについて全般的に回答結果が低くなっている。ただし、今後やってみたいことについては、子育て経験がある人とほぼ同様の回答となっている（図表 20）。

図表 19. 子どもへの関わり方、現在行っているものと今後やってみたいと思うこと
（問 9、複数回答：あてはまるもの全てに回答）



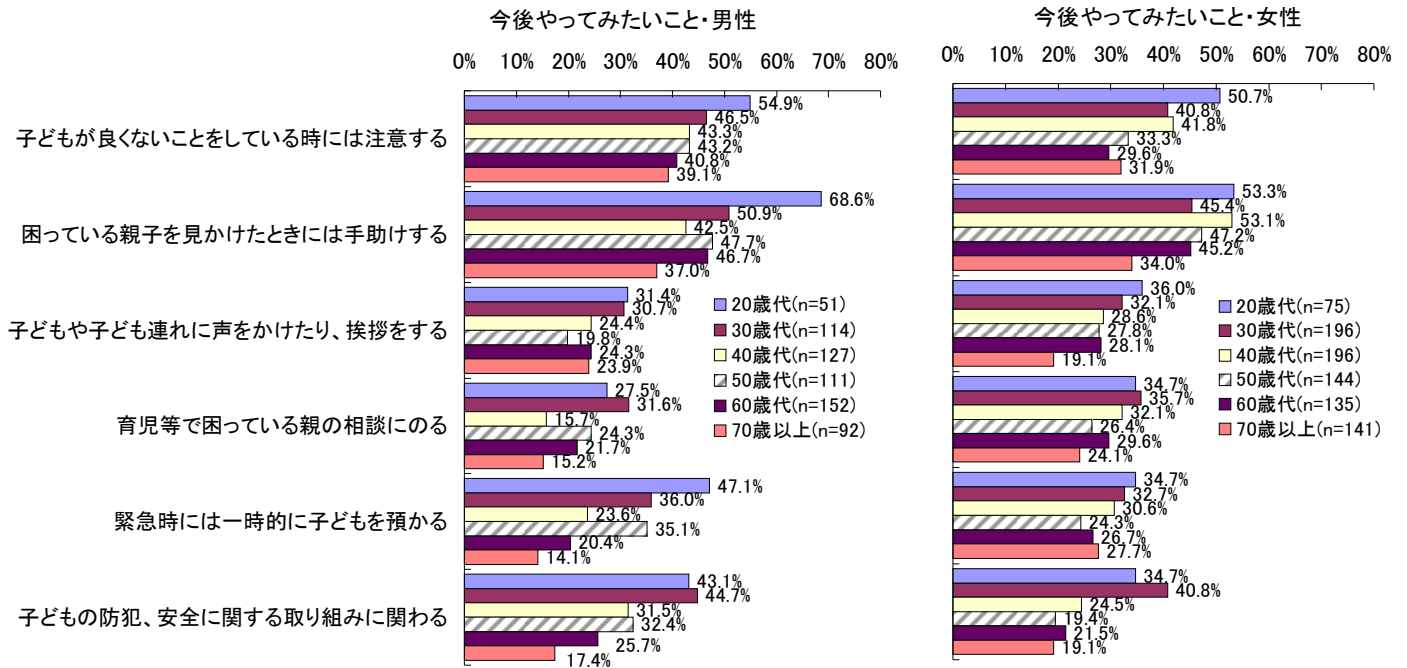
図表 20. 子育て経験と子どもへの関わり方、現在行っているものと今後やってみたいと思うこととの関係（問 5×問 9、複数回答：あてはまるもの全てに回答）



※「子どもが生まれる予定」の方については、度数が少ないため図表には非掲載

子どもへの関わりのうち、今後やってみたいことについて性別・年代別にみると、男女ともにほぼ同様の傾向がみられる。また、年齢が高くなるほど、いずれの項目についてもやってみたいとする回答が少なくなっている（図表 21）。

図表 21. 性別、年代と子どもへの関わり方、今後やってみたいと思うこととの関係
（問 21×問 22×問 9、複数回答：あてはまるもの全てに回答）

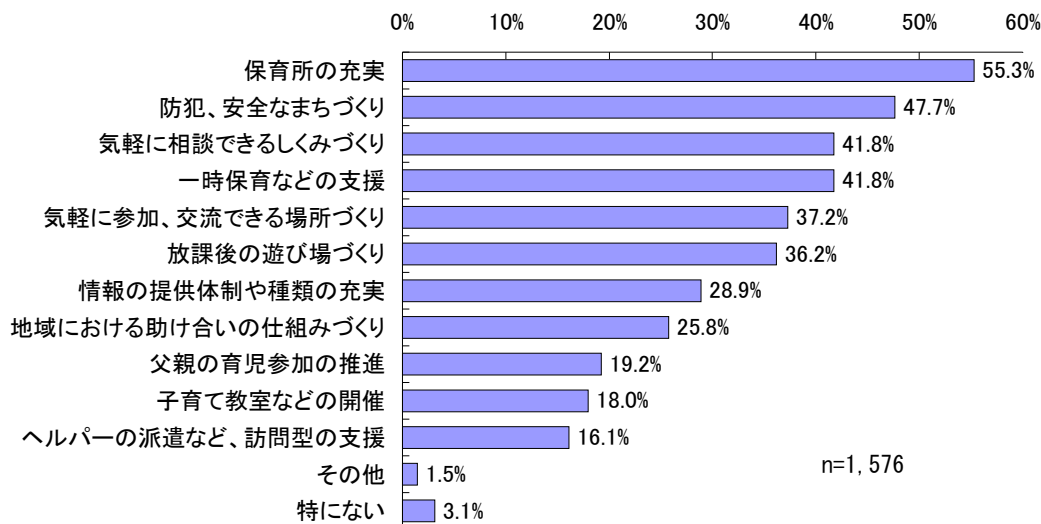


※回答項目のうち一部を抜粋して図表を作成。

④行政の子育て支援策

行政の子育て支援について充実させた方がよいものについては、保育所や一時保育、放課後の遊び場づくりの他、気軽に相談・交流できる仕組みの充実を求める意見が多い（図表 22）。

図表 22. 充実させると良い行政の子育て支援（問 10、複数回答：あてはまるもの全てに回答）



行政の子育て支援について充実させた方がよいものについて、性別・年代別にみると、男性よりも女性のほうが、多くの点について行政の子育て支援を充実させたほうが良いと考えている人が多いことがわかる（図表 23）。「保育所の充実」に関しては、20 歳代女性の 7 割以上が重要であると考えている。一方で、「子育て教室などの開催」に関しては、20 歳代男性からの回答が最も多く集まっている。

図表 23. 性別、年代と充実させると良い行政の子育て支援との関係
（問 21×問 22×問 10、複数回答：あてはまるもの全てに回答）

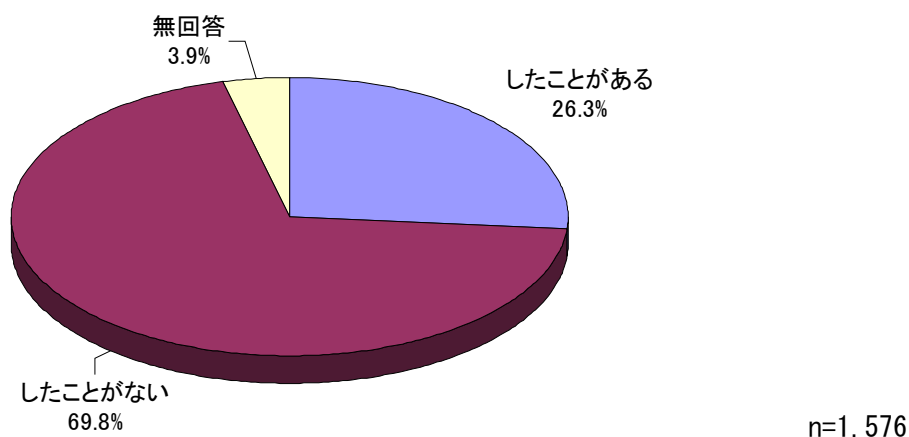
	最も多く回答があったグループ	2番目に多く回答があったグループ	3番目に多く回答があったグループ
保育所の充実	20歳代女性(72.0%)	60歳代女性(64.4%)	40歳代女性(60.2%)
防犯、安全なまちづくり	20歳代女性(61.3%)	60歳代女性(57.0%)	20歳代男性(51.0%)
気軽に相談できるしくみづくり	40歳代女性(52.0%)	60歳代女性(51.1%)	50歳代女性(50.7%)
一時保育などの支援	60歳代女性(54.8%)	30歳代女性(52.6%)	20歳代女性(50.7%)
気軽に参加、交流できる場所づくり	50歳代女性(43.8%)	30歳代女性(42.9%)	20歳代男性(41.2%)
放課後の遊び場づくり	40歳代女性(46.4%)	30歳代女性(44.9%)	60歳代女性(41.5%)
情報の提供体制や種類の充実	20歳代女性(48.0%)	30歳代女性(37.2%)	50歳代女性(30.6%)
地域における助け合いの仕組みづくり	60歳代女性(32.6%)	60歳代男性(32.2%)	50歳代男性(28.8%)
父親の育児参加の推進	20歳代女性(30.7%)	20歳代男性(29.4%)	50歳代女性(27.1%)
子育て教室などの開催	20歳代男性(25.5%)	60歳代女性(25.2%)	50歳代女性(23.6%)
ヘルパーの派遣など、訪問型の支援	40歳代女性(21.9%)	30歳代女性(21.4%)	50歳代女性(20.1%)

(4) 行政情報の入手方法について

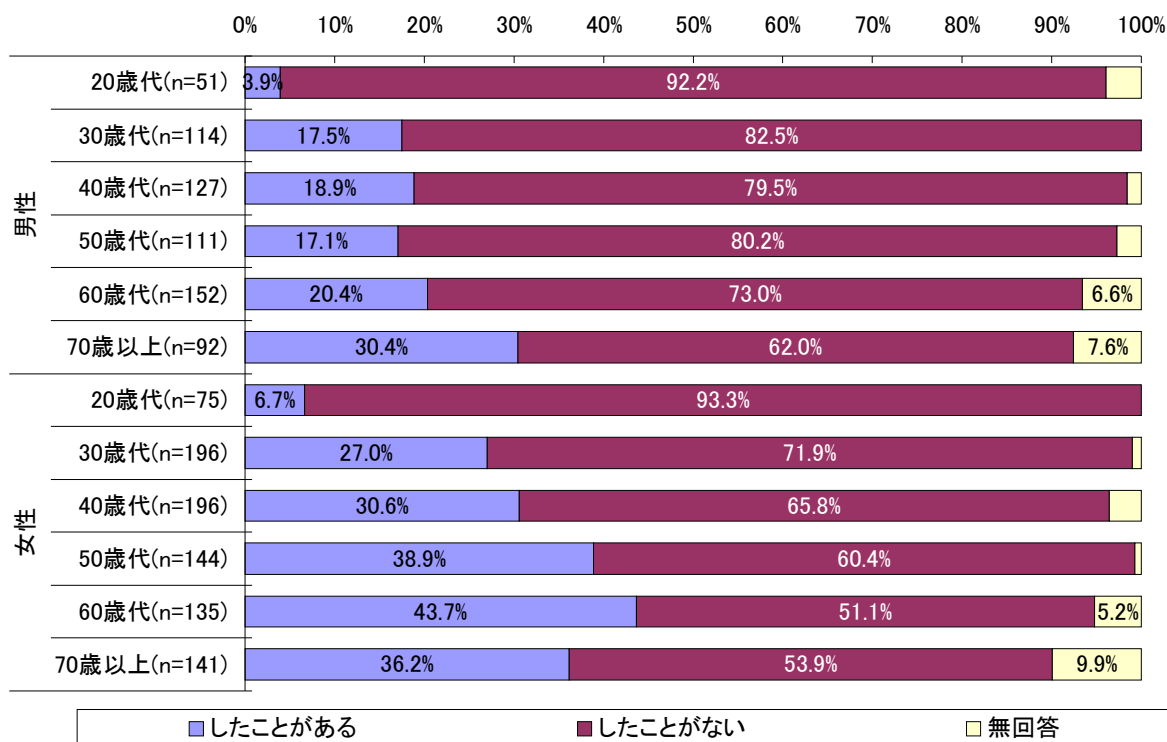
①「広報よこはま中区版」

「広報よこはま中区版」から情報を得てイベント等へ申込、参加をした人は、全体の約 1/4 程度であった（図表 24）。性別・年代別にみると、参加したことがある人の割合は男性よりも女性で高く、20 歳代では参加したことがある人の割合が特に低くなっていることがわかる（図表 25）。

図表 24. 「広報よこはま中区版」から情報を得てイベント等に申込、参加をしたことがあるか（問 11）

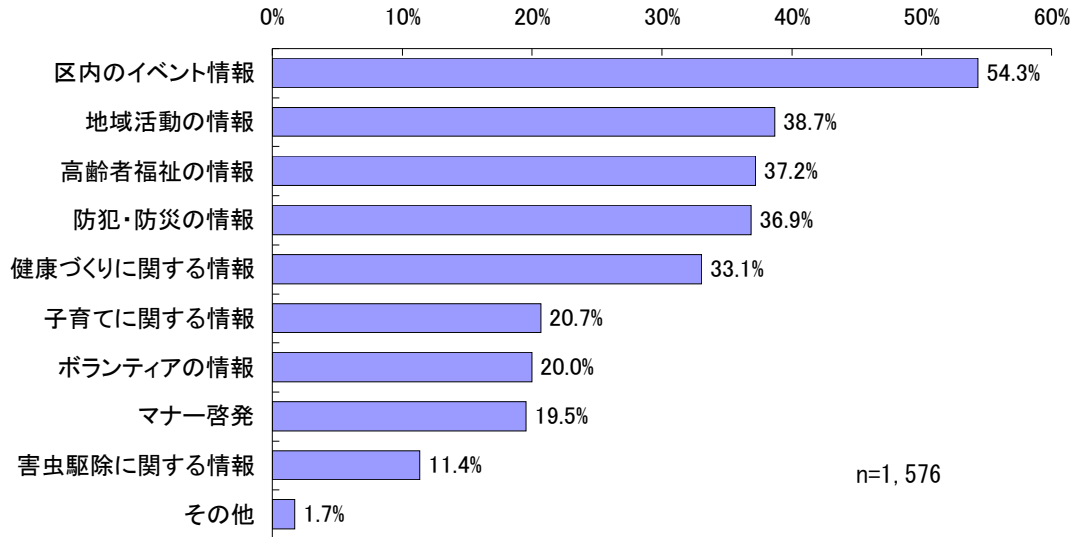


図表 25. 性別、年代と「広報よこはま中区版」から情報を得てイベント等に申込、参加をしたことがあるかとの関係（問 21×問 22×問 11）



「広報よこはま中区版」の紙面については、イベント、地域活動、高齢者福祉、防犯・防災、健康づくりに関して特に内容を充実すべきとの意見が多い（図表 26）。

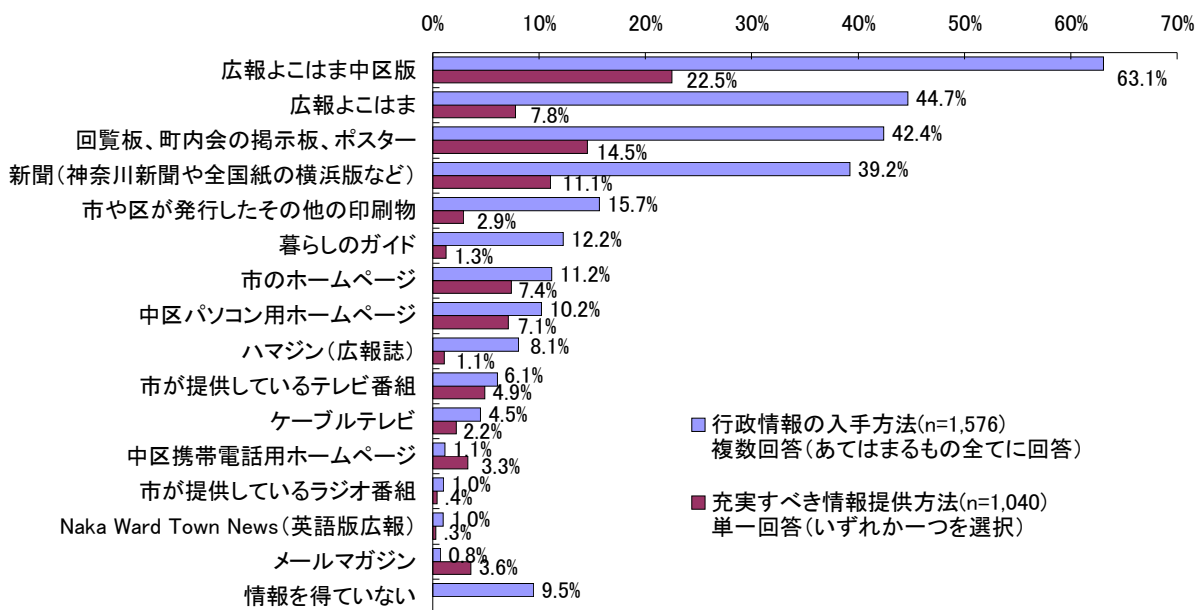
図表 26. 区の広報紙で充実すべき内容（問 12、複数回答：あてはまるものすべてに回答）



② 行政情報の入手方法

行政情報の入手方法については、区や市の広報紙、または「回覧板、町内会の掲示板、ポスター」など、紙媒体により情報を得ている人が多数である。また、今後充実すべき情報提供方法についても、区や市の広報紙や「回覧板、町内会の掲示板、ポスター」という回答が多い（図表 27）。

図表 27. 現在の行政情報入手方法と今後充実させるべきと考える情報提供方法（問 13, 問 14）

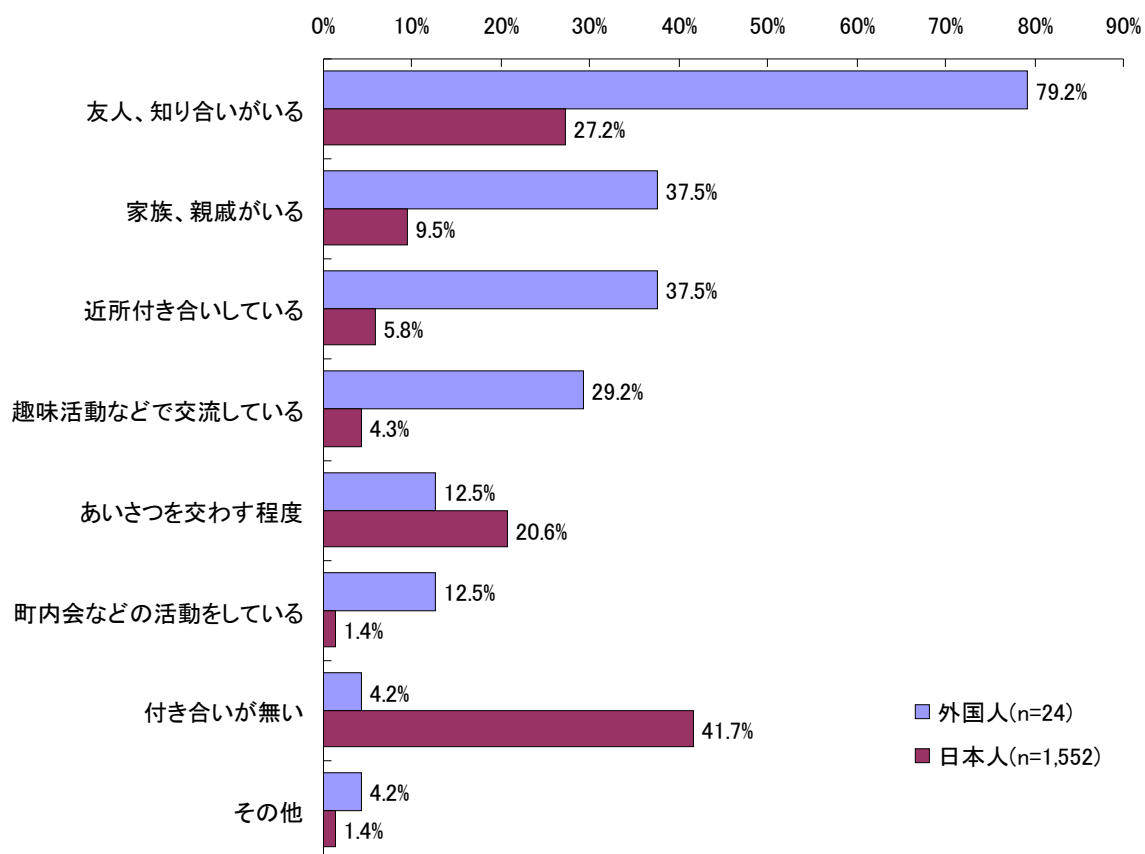


(5) 多文化共生について

①日本人と外国人との付き合い

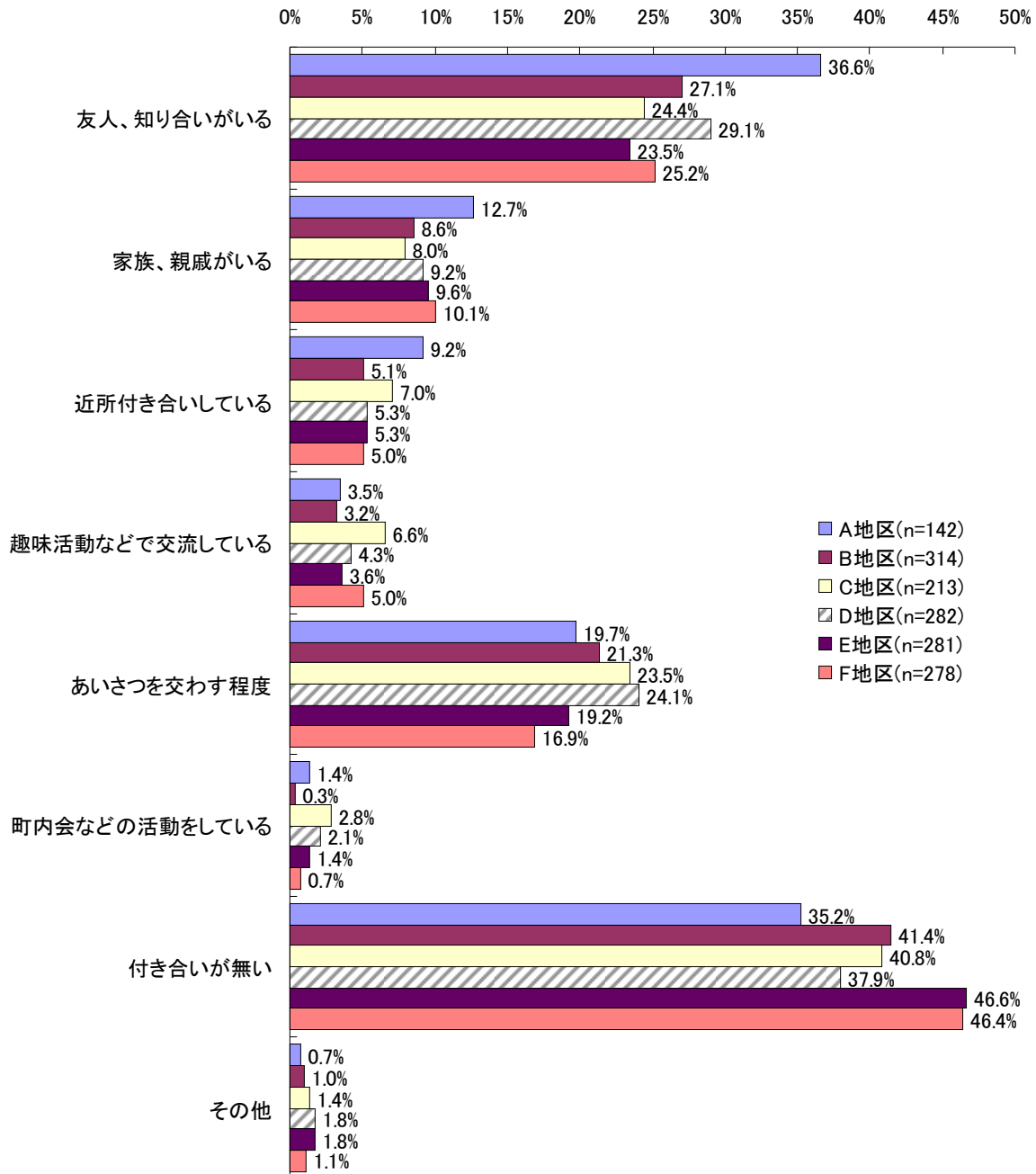
外国人に日本人との付き合い（日本人には外国人との付き合い）について質問したところ、外国人のほとんどが「友人、知り合いがいる」と回答している一方、日本人の約4割が「付き合いが無い」と回答している（図表28）。

図表28. 日本人との付き合いがあるか（日本人の回答者については外国人との付き合いがあるか）
（問15、複数回答：あてはまるものすべてに回答）



日本人の外国人との付き合いについて、居住地区別にみると、「友人・知り合いがいる」割合はA地区において高く、また、「付き合いが無い」はE地区、F地区において高い割合となっている（図表29）。

図表 29. 居住地区と外国人との付き合いがあるかとの関係
 (問 24×問 15、日本人のみ、複数回答：あてはまるものすべてに回答)

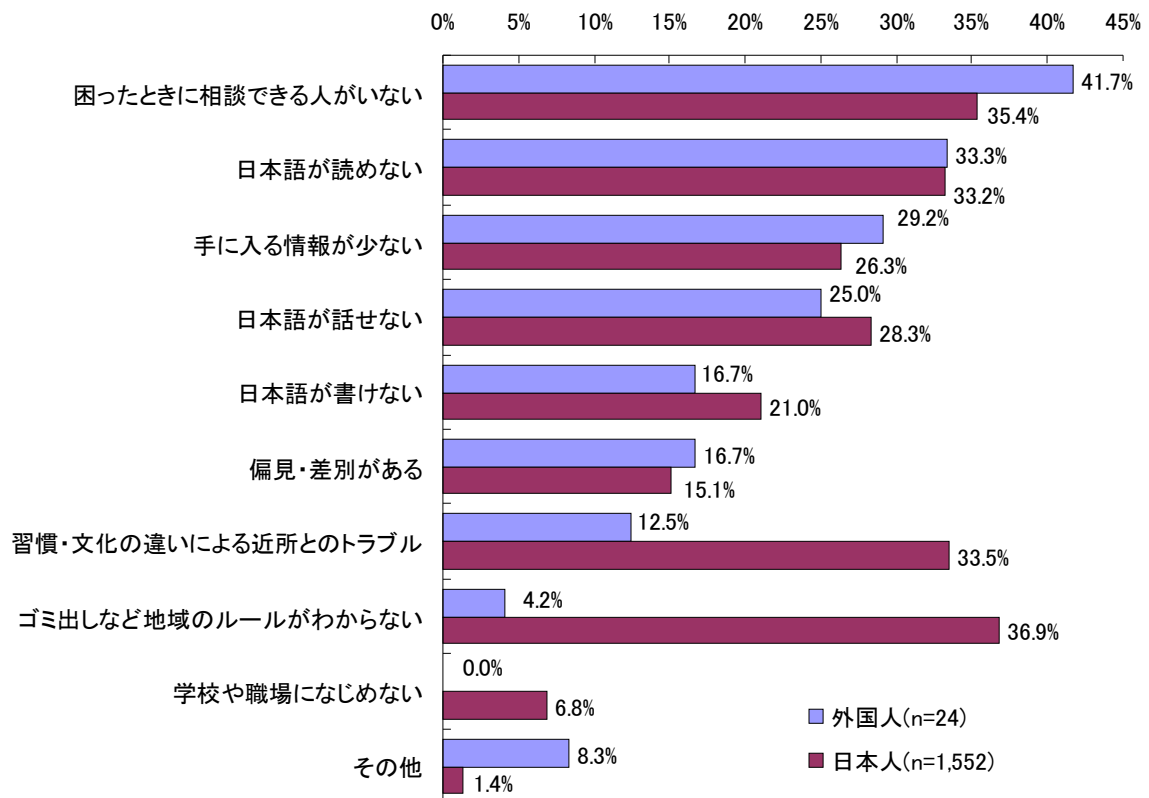


※「外国人」の方については、度数が少ないため図表には非掲載。
 ※A地区からF地区までの地区区分に関しては、3ページの地図を参照下さい。

②外国人が中区での生活で困っていること

外国人に生活で困っていること（日本人には、外国人が生活で困っているであろうと思うこと）について質問した結果、外国人は、「困ったときに相談できる相手がない」、日本語を読む・話す・書くことができない、「手に入る情報が少ない」という回答が多かった。一方、日本人は「習慣・文化の違いによる近所のトラブル」や、地域のルールが理解できなくて困っているのではないかとの回答が多かった。こうした日本人の回答に対し、外国人の結果をみると、各項目とも回答は少なかった（図表 30）。

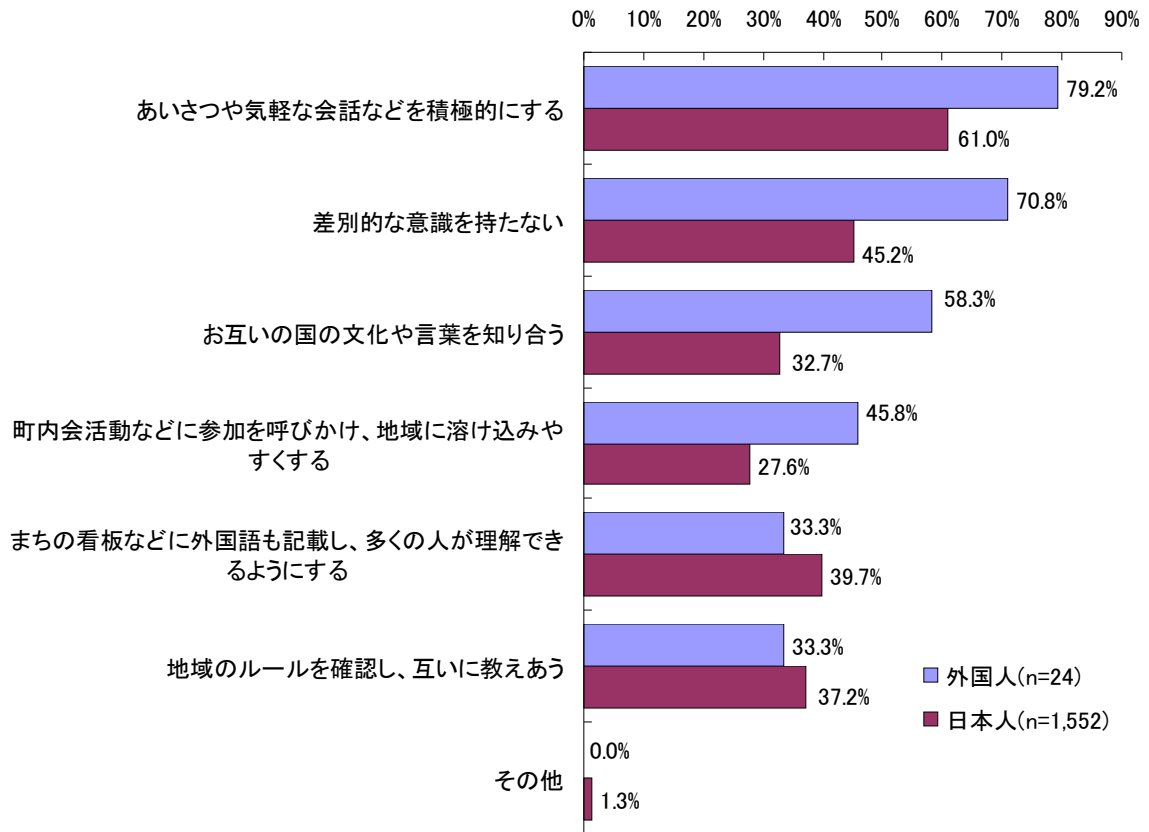
図表 30. 生活の中で困っていること（日本人の回答者については外国人が困っていると思うこと）
（問 16、複数回答：あてはまるものすべてに回答）



③日本人、外国人が互いに理解しながら暮らしていくために大切なこと

文化や習慣の異なる人々が、互いに理解しあいながら共に暮らしていくために大切なこととしては、日本人、外国人ともに「あいさつや気軽な会話などを積極的にする」、「差別的な意識を持たない」、「お互いの国の文化や言葉を知り合う」という回答が多い（図表 31）。

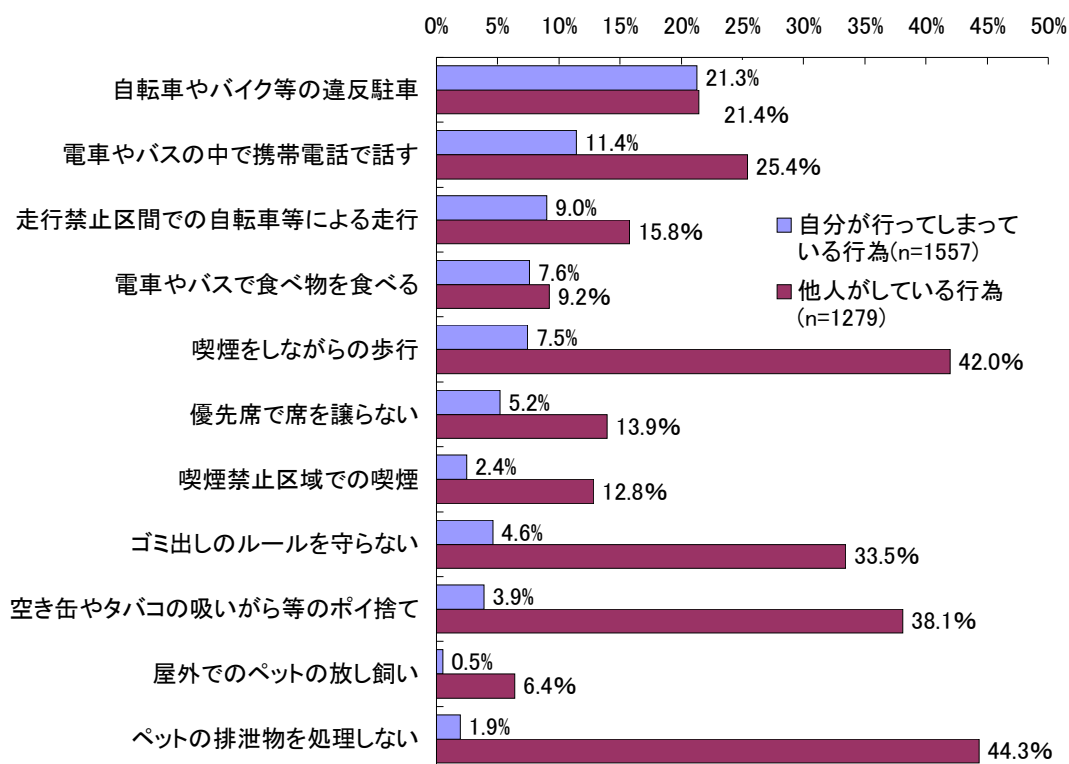
図表 31. 互いに理解して暮らしていくために大切なこと
（問 17、複数回答；あてはまるものすべてに回答）



(6) 生活マナー・社会規範について

マナーが悪いと思いながらも自分が行ってしまっている行為と、他人がしている行為でマナーが悪いと感じる行為を質問した結果、自分が行ってしまっている行為としては、「自転車やバイク等の違反駐車」や電車、バスでのマナー違反が比較的多く挙げられている。他人がしている行為でマナーが悪いと感じる行為としては、「ペットの排泄物を処理しない」、「喫煙しながらの歩行」、「空き缶やタバコの吸い殻等のポイ捨て」などが多い(図表 32)。

図表 32. マナーが悪いと思いながらも自分が行ってしまっている行為と
他人がしている行為でマナーが悪いと感じること
(問 18, 問 19、複数回答：あてはまるもの 3 つまで回答)



※ 4 つ以上の項目に回答があったものについては欠損値扱いとした。

(7) 自由意見欄への回答について

自由意見欄へは、交通の便や駐車・駐輪場の整備など「交通・道路」についての意見や、携帯電話や喫煙、自転車の走行等に関する「マナー・ルール」についての意見、「ごみ・リサイクル」、「都市整備・開発と住宅」、「公害・環境保全・緑」など、きれいな街づくりを希望する意見、高齢者やホームレス対策等「福祉」についての意見が多く見られた。

図表 33. 自由意見の分類（問 20）

	テーマ分類	意見数
a	交通・道路	98
b	マナー・ルール	81
c	ごみ・リサイクル	71
d	都市整備・開発と住宅	61
e	福祉	54
f	公害・環境保全・緑	39
g	子育て	37
h	保健・衛生・医療	32
i	市民交流・地域イベント	29
j	市民利用施設	29
k	防犯・防災・消防	27
l	都市経営・運営	21
m	経済・産業	18
n	戸籍・税金・保険年金	9
o	職員（教職員を除く）	9
p	広報・広聴・市民相談・情報公開	9
q	港湾・河川	9
r	市民活動	7
s	教育	7
t	観光・シティセールス	7
u	人権・男女共同参画	1
v	その他	6

※自由意見欄に記入があった調査票は 470 件。テーマ分類は横浜市の「市民の声」の大分類に「マナー・ルール」と「市民交流・地域イベント」を追加して各意見を振り分けた。なお、意見欄に複数の分類にまたがる意見が記載されている場合は、それぞれのテーマ分類ごとにカウントした。

※A 地区から F 地区までの地区区分に関しては、3 ページの地図を参照下さい。

※自由意見は分類ごとに整理して、資料編として、別途、掲載しています。

3. 参考資料

(1) 調査票

平成22年度 中区区民意識調査

～ アンケート調査へのご協力のお願い ～

区民の皆さまには、日頃から中区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、中区役所では、区政に対する区民の評価やニーズ等をお伺いし、今後の区政における政策立案、事業化等に反映させていきたいと考え、今回、このアンケート調査を実施することになりました。

ご回答をお願いする方は、住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為に選ばせていただきました。お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封いたしました返信用封筒に入れて、

平成22年6月30日(水)まで

にご投函いただくようお願いいたします。(返信用封筒への切手及び差出人の記名は不要です。)

平成22年6月
中区区政推進課

ご記入にあたってのお願い

1. 当アンケート調査は、区内在住の20歳以上の区民の方々の中から、無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。
2. 調査票には、封筒のあて先にお名前を書かせていただいたご本人がお答えください。
3. 回答欄には、黒ボールペンか鉛筆などで、はっきりとご記入いただくようお願いいたします。
4. お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、[]内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 設問ごとに(いずれか1つに○)など答え方の指定やご回答していただく方が限定される場合がありますので、お間違えのないようにお気をつけください。
6. ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。調査票はすべて無記名でお答えください。また、ご返送いただいた調査票は、当アンケート調査の目的以外には使用せず、集計後は中区役所が責任をもって処分いたします。

当アンケート調査について、ご不明な点やご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

よこはましなかくやくしよ そうむぶ くせいすいしんか きかくちょうせいかり
横浜市中区役所 総務部 区政推進課 企画調整係
担当：増田、三田

TEL：045-224-8127

FAX：045-224-8214

1 「中区の行政サービス」についてお尋ねします。

問1 中区の行政サービスにおける以下の項目に関して、あなたの現在の満足度と、今後の重要度を5段階で教えてください。(各項目について、満足度と重要度1つずつに○)

記入例

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
主要道路や高速道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目ごとにあてはまる数字を1つずつに○をつけてください。

【以下よりお答えください】

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
1 主要・幹線道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 自宅周辺の生活道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 自転車が走りやすい道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 バス・電車による移動の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 中心市街地の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 生活地域の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 公園・広場の整備、遊具の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 緑地の保全や緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 川や港とふれあえる環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
11 市民菜園など農と親しめる施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 日常の買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 地域活動施設（地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど）の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 障がい者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 子どもの教育・青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 経済的に困っている人への生活支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 病院・診療所や救急医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 地震や火災などの災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 区役所サービス（窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2 「地域活動全般」についてお尋ねします。

中区役所が平成21年8月に行った調査によれば、なんらかの地域活動にすでに参加・活動している方が調査対象者の約4.2%、条件が合えば協力したいという方が約46.6%いることがわかりました。

問2 あなたは自分がどの自治会・町内会の区域に住んでいるか知っていますか。また、自治会・町内会に加入していますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 知っており加入している | 2 知らないが加入している (マンション単位で加入等) |
| 3 知っており加入していない | 4 知らないし加入していない |

問3 つぎの自治会・町内会活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-----------|------------|
| 1 清掃などのまちの美化活動 | 2 防犯、防火活動 | 3 自治会報等の発行 |
| 4 資源回収、リサイクル活動 | 5 放置自転車対策 | 6 町内掲示板的管理 |
| 7 防犯灯の維持管理 | 8 交通安全運動 | 9 どれも知らない |

問4 区民の約半数はなんらかの地域活動に参加したいと思いますが、実際に参加している人は約4%にとどまっています。あなたはどんな工夫があれば参加しやすいですか。

(もっともあてはまるもの1つに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 ホームページや広報に情報が掲載され、活動の存在を知ることができれば |
| 2 参加するメリットを示されれば |
| 3 家族や友人、知り合い等と一緒に参加できれば |
| 4 曜日や時間が都合に合えば |
| 5 子どもと一緒に参加できるイベントであったり、一時保育があれば |
| 6 持病や障がいがあっても安心して参加できる工夫があれば |
| 7 ペットの同伴が可能であったり、一時的に預ける場所があれば |
| 8 交通費などの実費が支給され、金銭的な負担がなければ |
| 9 その他 () |

3 「子育て支援」についてお尋ねします。

横浜市および中区では、「子育て支援」を今後の重要な課題であると考えています。一方で、近年、児童虐待に関するニュースが多く取りざたされているという現状があります。

問5 あなたは子育ての経験、または予定がありますか。(いずれか1つに○)

- | | | |
|---------|--------------|--------------|
| 1 経験がある | 2 子どもが生まれる予定 | 3 今のところ予定はない |
|---------|--------------|--------------|

問6 あなたは出産・育児でどのようなことに苦労しましたか。既に経験された方や現在当事者の方は実体験を、いまのところ経験の無い方は思っていることをお答えください。

(あてはまるものに3つまで○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 子育てによる心身の負担が大きい | 2 自分の自由な時間が持てない |
| 3 育児の方法がよくわからない | 4 公共の場に連れて行きにくい |
| 5 子どもとの接し方に自信が持てない | 6 産科・小児科のある病院が近くにない |
| 7 子どもと接する時間を十分にとれない | 8 幼稚園・保育園に入園しにくい |
| 9 子どもの病気や発育・発達に関することが不安 | 10 経済的な負担が大きい |
| 11 支えてくれる人(親族等)が身近にいない | 12 困ったときに相談相手がいない |
| 13 親同士のコミュニケーションがうまくいかない | 14 その他() |
| 15 特にない | |

問7 身近なところで児童虐待を受けていると思われる児童を発見した場合、あなたはどのように対応しますか。(もっともあてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 児童相談所に連絡する | 2 区役所(保健センター)に連絡する |
| 3 特に何もしない | 4 知り合いに相談する |
| 5 保育所、幼稚園、学校に連絡する | 6 どうしてよいかわからない |
| 7 警察に連絡する | 8 民生委員や児童委員に連絡する |
| 9 自分でその子どもに声をかけたり、相談に乗る | |

問8 身近なところで児童虐待を受けていると思われる児童を発見した場合、あなたが不安に感じることはありますか。(あてはまるものに3つまで○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 虐待ではなく、しつけの範囲なのかもしれない |
| 2 通告・相談の手続きが面倒ではないか |
| 3 自分が通告・相談したことがわかってしまわないか |
| 4 すぐに対応してもらえないのではないか |
| 5 事情を聞かれるなど面倒なことになるのではないか |
| 6 虐待でなかった場合、後で自分が責められるのではないか |
| 7 子どもに対する虐待が余計にひどくなるのではないか |
| 8 親が逮捕されたり、子どもが施設に送られるなど大事に至るのではないか |
| 9 その他() |
| 10 特に不安に感じない |

問9 子どもへの関わりについてどのようにしたいとお考えですか。自分で現在行っているものは「現在」欄に、これからやってみたいと思うことは「今後」欄にお答えください。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

	記入例		回答欄	
	現在	今後	現在	今後
子どもが良くないことをしている時には注意する	○			
子どもや子ども連れに声をかけたり、挨拶をする	○			
困っている親子を見かけたときには手助けする	○	○		
育児等で困っている親の相談にのる				
緊急時には一時的に子どもを預かる		○		
子どもを対象とした遊び、活動等に関わる				
子どもの防犯、安全に関する取り組みに関わる				
子ども会などの地域活動に関わる		○		
子育てサークル等に関わる				
民生・児童委員、こんにちは赤ちゃん訪問員などを担う				
特に地域の子どもたちとの関わりは持たない				

問10 行政の子育て支援として、あなたは何を充実させると良いとお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 情報の提供体制や種類の充実	2 気軽に参加、交流できる場所づくり
3 子育て教室などの開催	4 気軽に相談できるしくみづくり
5 放課後の遊び場づくり	6 ヘルパーの派遣など、訪問型の支援
7 父親の育児参加の推進	8 地域における助け合いの仕組みづくり
9 防犯、安全なまちづくり	10 一時保育などの支援
11 保育所の充実	12 その他 ()
13 特になし	

4 「行政情報の入手方法」についてお尋ねします。

横浜市および中区では、行政からのお知らせや暮らしの情報を、正確に分かりやすく伝えるため、テレビやインターネット、広報紙など様々な形で発信しています。

問11 あなたは「広報よこはま中区版」から情報を得て、イベントなどに申込または参加をしたことがありますか。(いずれか1つに○)

1 したことがある	2 したことがない
-----------	-----------

問12 あなたが「広報よこはま中区版」の紙面でどのような内容を充実して欲しいとお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 区内のイベント情報	2 マナー啓発	3 地域活動の情報
4 防犯・防災の情報	5 害虫駆除に関する情報	6 ボランティアの情報
7 高齢者福祉の情報	8 健康づくりに関する情報	9 子育てに関する情報
10 その他 ()		

問13 あなたは現在、どのような方法で行政の情報を入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1 市が提供しているテレビ番組 | 2 市が提供しているラジオ番組 |
| 3 ケーブルテレビ | 4 暮らしのガイド |
| 5 新聞 (神奈川新聞や全国紙の横浜版など) | 6 回覧板、町内会の掲示板、ポスター |
| 7 中区パソコン用ホームページ | 8 市のホームページ |
| 9 中区携帯電話用ホームページ | 10 ハマジン (広報誌) |
| 11 メールマガジン | 12 市や区が発行したその他の印刷物 |
| 13 広報よこはま | 14 Naka Word Town News (英語版広報) |
| 15 広報よこはま中区版 | 16 情報を得ていない |

問14 あなたが今後、市・区役所からの情報を入手しやすくするためには、どのような情報提供の方法を充実させればよいと思いますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1 市が提供しているテレビ番組 | 2 市が提供しているラジオ番組 |
| 3 ケーブルテレビ | 4 暮らしのガイド |
| 5 新聞 (神奈川新聞や全国紙の横浜版など) | 6 回覧板、町内会の掲示板、ポスター |
| 7 中区パソコン用ホームページ | 8 市のホームページ |
| 9 中区携帯電話用ホームページ | 10 ハマジン (広報誌) |
| 11 メールマガジン | 12 市や区が発行したその他の印刷物 |
| 13 広報よこはま | 14 Naka Word Town News (英語版広報) |
| 15 広報よこはま中区版 | 16 その他 () |

5 「多文化共生」についてお尋ねします。

横浜市の中でも特に外国人区民の比率が高い中区では、国際性豊かなまちづくりを目指しています。

問15 あなたは現在、日本人との付き合いがありますか。日本人の方は外国人との付き合いについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1 家族、親戚がいる | 2 町内会などの活動をしている | 3 付き合いが無い |
| 4 友人、知り合いがいる | 5 趣味活動などで交流している | 6 近所付き合いしている |
| 7 あいさつを交わす程度 | 8 その他 () | |

問16 あなたが中区での生活で困っていることはどのようなことですか。日本人の方は外国人の方が思っていると思うことをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 日本語が話せない | 2 ゴミ出しなど地域のルールがわからない |
| 3 日本語が読めない | 4 日本語が書けない |
| 5 困ったときに相談できる人がいない | 6 偏見・差別がある |
| 7 習慣・文化の違いによる近所とのトラブル | 8 学校や職場になじめない |
| 9 手に入る情報が少ない | 10 その他 () |

問17 文化や習慣の異なる人々が、互いに理解しあいながら共に暮らしていくためには、あなたはどのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1 あいさつや気軽な会話などを積極的にする | 2 お互いの国の文化や言葉を知り合う |
| 3 地域のルールを確認し、互いに教えあう | 4 差別的な意識を持たない |
| 5 まちの看板などに外国語も記載し、多くの人々が理解できるようにする | |
| 6 町内会活動などに参加を呼びかけ、地域に溶け込みやすくする | |
| 7 その他 () | |

6 「生活マナー・社会規範」についてお尋ねします。

前回調査(平成20年度実施)において、社会マナーの重要度指数が5段階中4という結果であったのに対し、現状への満足度は5段階中2という結果でした。これにより、社会マナーの現状に満足せず、向上して欲しいと思っている区民が多いことがわかりました。

問18 マナーが悪いと思いつつも、あなたが行ってしまっている行為はなんですか。

(あてはまるものに3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自転車やバイク等の違反駐車 | 2 電車やバスの中で携帯電話で話す |
| 3 走行禁止区間での自転車等による走行 | 4 電車やバスで食べ物を食べる |
| 5 喫煙をしながらの歩行 | 6 優先席で席を譲らない |
| 7 喫煙禁止区域での喫煙 | 8 ゴミ出しのルールを守らない |
| 9 空き缶やタバコの吸い殻等ポイ捨て | 10 屋外でのペットの放し飼い |
| 11 ペットの排泄物を処理しない | |

問19 他人がしている行為でマナーが悪いと感じる行為はなんですか。(あてはまるものに3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自転車やバイク等の違反駐車 | 2 電車やバスの中で携帯電話で話す |
| 3 走行禁止区間での自転車等による走行 | 4 電車やバスで食べ物を食べる |
| 5 喫煙をしながらの歩行 | 6 優先席で席を譲らない |
| 7 喫煙禁止区域での喫煙 | 8 ゴミ出しのルールを守らない |
| 9 空き缶やタバコの吸い殻等ポイ捨て | 10 屋外でのペットの放し飼い |
| 11 ペットの排泄物を処理しない | |

7 自由意見欄

問20 今後、中区をより魅力あるくらしやすいまちにしていくためのご意見を、ご自由にお書き下さい。

8 最後に、「あなたご自身」についてお尋ねします。(平成22年6月1日現在)

問21 あなたの性別を教えてください。(いずれか1つに○)

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問22 あなたの年齢を教えてください。(いずれか1つに○)

1	20歳代	2	30歳代	3	40歳代	4	50歳代	5	60歳代	6	70歳以上
---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	-------

問23 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	祖父(義祖父)	2	祖母(義祖母)	3	父(義父)	4	母(義母)
5	配偶者	6	兄弟姉妹	7	子(15歳未満)	8	子(15歳以上)
9	孫(15歳未満)	10	孫(15歳以上)	11	ひとり暮らし		
12	その他〔 〕						

問24 あなたのお住まいの町名を教えてください。(いずれか1つに○)

ア行	1	相生町	2	赤門町	3	曙町	4	池袋	5	石川町
	6	伊勢佐木町	7	上野町	8	打越	9	内田町	10	扇町
	11	大芝台	12	おたまち	13	おおひら町	14	おきなちょう	15	おのえちょう
カ行	16	海岸通	17	柏葉	18	かもめ町	19	きたがたちょう	20	きたなかどおり
	21	黄金町	22	寿町	23	小港町				
サ行	24	鷺山	25	桜木町	26	新港	27	しんやました	28	すえひろちょう
	29	末吉町	30	すみよしちょう	31	諏訪町				
タ行	32	滝之上	33	竹之丸	34	立野	35	ちとせちょう	36	ちどりちょう
	37	長者町	38	ちよぎきちょう	39	塚越	40	てらくぼ	41	ときわちょう
	42	豊浦町								
ナ行	43	なかおだい	44	にしきちょう	45	にしたけのまる	46	にしのやちょう	47	にほんおどおり
	48	ねぎしあさひだい	49	ねぎしかぞうだい	50	ねぎしだい	51	ねぎしちょう	52	のげちょう
ハ行	53	はごろもちょう	54	はつねちょう	55	はなさきちょう	56	はなぶさちょう	57	ほんだいちょう
	58	ひのでりちょう	59	ふくとみちょうなかどおり	60	ふくとみちょうにしどおり	61	ふくとみちょうひがしどおり	62	ふじみちょう
	63	ふろうちょう	64	べんてんどおり	65	ほうらいちょう	66	ほんごうちょう	67	ほんちょう
	68	ほんもくあらい	69	ほんもくおおさとちょう	70	ほんもくさんのたに	71	ほんもくじゅうにてん	72	ほんもくちょう
	73	ほんもくはら	74	ほんもくとう	75	ほんもくまかど	76	ほんもくまんざか	77	ほんもくみどりがおか
	78	ほんもくみやばら	79	ほんもくもとまち	80	ほんもくわだ				
マ行	81	まきごちょう	82	まつかげちょう	83	まめぐちだい	84	みなとちょう	85	みなみなかどおり
	86	みなみほんもく	87	みのさわ	88	みやがわちょう	89	みょうこうじだい	90	みよちょう
	91	むぎたちょう	92	もとまちは	93	もとまち				
ヤ行	94	やぐちだい	95	やましたちょう	96	やまたちょう	97	やまてちょう	98	やまてちょう
	99	やまがきちょう	100	やまもとちょう	101	やよいちょう	102	よこはまこうえん	103	よしだまち
	104	よしはまちょう								
ワ行	105	わかばちょう	106	わだやま						

問25 あなたは、中区にどのくらいの期間住んでいますか。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～3年未満 | 3 3～5年未満 | 4 5～10年未満 |
| 5 10～20年未満 | 6 20～30年未満 | 7 30年以上 | |

問26 あなたのお住まいの形態を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 持ち家 (一戸建て) | 2 持ち家 (マンション等共同住宅) |
| 3 賃貸 (一戸建て) | 4 賃貸 (マンション等共同住宅) |
| 5 その他 [|] |

問27 あなたが中区に住むようになった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 親の代から住んでいて、同居しているから | |
| 2 親や兄弟姉妹、親戚などが近所に住んでいたから | |
| 3 通勤や通学に便利だったから | 4 住環境が良いと思ったから |
| 5 その他 [|] |

問28 あなたの職業を教えてください。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|---------------------|--------------------------|---------|---|
| 1 就労している (常勤・フルタイム) | 2 就労している (非常勤・パート・アルバイト) | | |
| 3 就労していない | 4 学生 | 5 その他 [|] |

問29 あなたはどこに通勤・通学されていますか。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|--------|------------|---------------|---------------|
| 1 中区内 | 2 横浜市内の他の区 | 3 神奈川県内の他の市町村 | |
| 4 東京都内 | 5 その他 [|] | 6 通勤・通学はしていない |

【問29で「1～5」に○をつけた方にお尋ねします】

問30 職場・学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|----------------|----------------|------------|-------------|
| 1 15分未満 | 2 15～30分未満 | 3 30～45分未満 | 4 45分～1時間未満 |
| 5 1時間～1時間30分未満 | 6 1時間30分～2時間未満 | 7 2時間以上 | |

【全員の方にお尋ねします】

問31 家事や仕事・学校、通勤・通学、睡眠などの時間を除き、あなたが自由に使える時間は、一日のうちどのくらいですか。* 仕事や学校に行かれています方は、行かれています通常の日(休みの日以外)でお答えください。(いずれか1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1 1時間未満 | 2 1～3時間未満 | 3 3～5時間未満 | 4 5時間以上 |
|---------|-----------|-----------|---------|

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

横浜市中区区民意識調査報告書

平成 22 年 10 月発行

発行：横浜市中区区政推進課

〒231-0021 横浜市中区日本大通 35 番地

電話 (045) 224-8129

FAX (045) 224-8214